

# 令和6（2024）年度 入学者選抜要項

一般選抜（前期日程・後期日程）  
学校推薦型選抜  
スーパーアスリート推薦選抜  
帰国生選抜  
私費外国人留学生選抜  
国際バカロレア選抜

入学者選抜要項は、7月時点における入学者選抜にかかる基本的事項を示したものです。  
各選抜の詳細及び出願方法については「学生募集要項」に記載されます。



東京学芸大学  
Tokyo Gakugei University

令和5（2023）年7月



# 目 次

I. 共通事項（すべての選抜に共通）	2
1. 入学者選抜要項及び学生募集要項について	2
2. 受験に際して配慮を必要とする志願者の事前相談	2
3. 出願手続について	3
4. 入試等にかかる日程	3
5. ウェブサイト等での情報提供・お問い合わせについて	4
II. 東京学芸大学教育学部 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	6
III. 教育学部における課程、専攻（類）、コース・プログラムの募集人員等	8
1. 入学定員及び募集人員	8
2. 類・コース別の特別事項	9
IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕	10
1. 出願資格	10
2. 出願期間	11
3. 併願	11
4. 選抜方法	11
5. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等（共通事項）	11
6. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表	13
7. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等	15
8. 小論文の概要	18
9. 実技試験等の内容	19
10. 配点一覧表	25
V. 学校推薦型選抜	27
1. 募集する課程、専攻（類）、コース・プログラムの募集人員及び推薦可能人数	27
2. 出願資格	28
3. 出願期間	29
4. 選抜方法	29
5. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点	30
6. 小論文の概要	31
7. 実技試験等の内容	33
VI. スーパーアスリート推薦選抜	34
1. 募集する課程、専攻（類）、コースの募集人員及び推薦可能人数	34
2. 出願資格	34
3. 出願期間	34
4. 選抜方法	35
5. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点	35
6. 小論文の概要	35
VII. 帰国生選抜	36
1. 出願資格	36
2. 出願期間	36
3. 選抜方法	37
4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等	37
5. 小論文の概要	38
6. 実技試験等の内容	40
7. 配点一覧表	41
VIII. 私費外国人留学生選抜	42
1. 出願資格	42
2. 出願期間	42
3. 選抜方法	43
4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等	43
5. 小論文の概要	44
6. 実技試験等の内容	46
7. 配点一覧表	47
IX. 国際バカロレア選抜	48
1. 出願資格	48
2. 出願期間	48
3. 選抜方法	48
4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点	49
入試結果情報	51

## I. 共通事項（すべての選抜に共通）

### 1. 入学者選抜要項及び学生募集要項について

(1) 「入学者選抜要項」は、令和5(2023)年7月時点における令和6(2024)年度入学者選抜にかかる基本的な事項を記載したものです。それぞれの選抜の詳細は「学生募集要項」に記載されます。学生募集要項の公表予定時期は「**4. 入試等にかかる日程**」を参照してください。

なお、学生募集要項は本学「学部入試情報サイト」に掲載します。紙媒体の発行はありません。

(2) この入学者選抜要項では、「個別学力検査等」を「東京学芸大学入学試験」と表記しています。

(3) この入学者選抜要項では、教育学部の各課程における「専攻」を「類」で表記している場合があります。

課程	専攻	類
学校教育教員養成課程	初等教育専攻	A類
	中等教育専攻	B類
	特別支援教育専攻	C類
	養護教育専攻	D類
教育支援課程	教育支援専攻	E類

(4) 学生募集要項にはそれぞれの選抜試験の詳細及び出願手続等の詳細が記載されます。

### 2. 受験に際して配慮を必要とする志願者の事前相談

(1) 障がいがある等の理由で、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者もしくは不安を感じる志願者は、各選抜の学生募集要項公表後、事前相談締切日までに「事前相談申出書」を提出し、あらかじめ本学と相談のうえ出願してください。また、相談内容によっては対応に時間を要することがあります。締切日以降の相談についても引き続き配慮検討の対象となりますが、事前準備の都合上、相談の時期が遅くなるほど実際に提供できる受験上の配慮が限定される場合がありますので、余裕をもって相談してください。

なお、複数の選抜・日程に出願する場合は、そのすべてに対して相談を行ってください。

(2) 障がい等のある志願者が、選抜の際に不利に扱われることはありません。

(3) 「事前相談申出書」（様式任意）には次の内容を記載し、診断書等の関係書類を添付してください。

① 志願する選抜区分及び日程、志願先（類、コース・プログラム）

② 障がい等の種類・程度

③ 受験上及び修学上の配慮を希望する事項

④ 高等学校（中等教育学校等を含む）でとられていた特別措置

⑤ 日常生活の状況

⑥ その他参考となる事項

⑦ 申請者の連絡先（住所、電話番号、Eメールアドレス等）※申請内容について把握している者

※ 一般選抜志願者は、申出書に加えて「大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書」のコピーを添付。

(4) お問い合わせ先、申請書類提出先（郵送）は「東京学芸大学 入試課学部入試係」です。

(5) 相談締切日は、「**4. 入試等にかかる日程**」を参照してください。また、相談に対する回答は各選抜の出願手続期間開始までに郵送により行います。

### 3. 出願手続について

本学では令和6年度入試（令和5（2023）年度実施）よりインターネット出願を導入する予定です。これについて、下記のことにご留意してください。

- (1) 本学での出願手続は、「インターネット出願登録・検定料の支払い」及び「出願書類の郵送」の2段階により行います。出願手続期間・時間内にこの2段階の両方を完了しない場合は「出願」をしたことにはなりません。出願資格や志願先等によっては書類の準備に時間を要する場合がありますので、出願手続期間・時間内にスムーズに出願手続を行えるよう、余裕をもって準備してください（出願手続期間・時間及び出願書類の詳細は、各選抜の「学生募集要項」に掲載します）。
- (2) 学生募集要項及び出願書類所定用紙は冊子（紙媒体）での発行を取りやめ、本学「学部入試情報サイト」でPDF形式ファイルにより掲載します。特別の事情があって学生募集要項の冊子及び出願書類所定用紙（PDF形式ファイルを印刷したもの）を請求する必要がある場合は、各選抜の出願手続期間開始前に余裕をもって入試課学部入試係（042-329-7204）まで連絡してください。
- (3) インターネット出願について特別の事情がある場合は、各選抜の学生募集要項公表後、できるだけ早い時期に入試課学部入試係（042-329-7204）まで相談してください。出願手続期間開始後の申し出では配慮が困難な場合があります。
- (4) 学生募集要項（出願書類の所定様式を含む）及びインターネット出願サイトのリンクは本学「学部入試情報サイト」に掲載しますので、必ず当ウェブサイト内からアクセスしてください。本学が管理していない外部サイトに掲載されたリンク等からアクセスしたことにより志願者等が不利益（正確な情報が得られない、個人情報等を詐取される等）を被っても、本学では責任を負いません。  
 なお、過去にアクセスしたことがあるウェブサイトにも再度アクセスした場合はブラウザキャッシュにより最新の情報が表示されないことがありますので、アクセス毎にページの更新（再読み込み）や、キャッシュクリアを行ってください。

なお、出願手続についての詳細は各選抜の「学生募集要項」に掲載しますが、導入準備の状況によっては出願手続方法を変更する場合があります。学生募集要項の公表後に変更等周知すべきことが生じた場合は本学「学部入試情報サイト」でお知らせしますので、随時確認してください。また、導入準備中のため、学生募集要項の公表前はインターネット出願についてのご質問には一切お答えできません。

### 4. 入試等にかかる日程

選抜区分・日程	事項	学生募集要項 公表	事前相談 締切日	出願手続期間		試験期日	合格者発表	入学手続期日 (最終日)
				出願登録期間	出願期間			
国際バカロレア選抜		2023年 8月上旬	9月1日	9月25日 ～10月6日	10月2日 ～10月6日	11月25日	12月7日	12月18日
学校推薦型選抜 スーパーアスリート推薦選抜		2023年 9月上旬	10月2日	10月25日 ～11月6日	11月1日 ～11月6日			
帰国生選抜 私費外国人留学生選抜		2023年 10月上旬	11月24日	12月12日 ～12月21日	12月19日 ～12月21日	2024年2月 25日・26日	3月6日	3月15日
一般選抜	前期日程	2023年 11月上旬	12月20日	2024年 1月15日 ～2月2日	1月22日 ～2月2日			
	後期日程							



学生募集要項及びインターネット出願サイトのURL等については、すべて東京学芸大学「学部入試情報サイト」内に掲載します。  
 《<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/gakubu/index.html>》

**5. ウェブサイト等での情報提供・お問い合わせについて**

- (1) 本学では公式ウェブサイト等で随時情報提供を行っています。大学公式ウェブサイトのほか、入学試験に関する情報については主に「学部入試情報サイト」に掲載しています。通常の情報提供に加え、入学者選抜要項の内容に変更が生じた場合や、その他周知すべきことが生じた場合には「学部入試情報サイト」でお知らせしますので、随時確認してください。

なお、災害等により公式ウェブサイト及び学部入試情報サイトの更新や閲覧ができなくなった場合、「臨時公式ウェブサイト」や「Twitter」にて情報提供を行う場合があります。また、このような状況となった場合、学部入試情報サイトに掲載している入学者選抜要項や学生募集要項の閲覧に支障が生じる場合がありますので、PC、スマートフォン等へのダウンロード又は印刷しておくことを推奨します。

- ☞ 大学公式ウェブサイト → <https://www.u-gakugei.ac.jp/>
- ☞ 学部入試情報サイト → <https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/gakubu/index.html>
- ☞ 公式 Twitter → <https://twitter.com/TokyoGakugei>
- ☞ 臨時公式ウェブサイト → <https://sites.google.com/site/gakugeiweb/>



- (2) 東京学芸大学入学試験についての問い合わせ、各種申請書等の郵送先はすべて下記のとおりです。

国立大学法人東京学芸大学 学務部入試課学部入試係  
 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4丁目1番1号  
 電話：042-329-7204

- (注1) 入試課では「入学試験に関する内容」以外の問い合わせ等には応じかねます。  
 (注2) 入学試験についての問い合わせは「受験に際して配慮を必要とする志願者の事前相談」を除き、原則として志願者本人が行ってください。  
 (注3) 電話による問い合わせの受付時間は休日（土曜日・日曜日・国民の祝日）及び大学が定める休業日を除く日の9時から12時及び13時から17時です。問い合わせへの回答には時間を要する場合がありますので、時間的・期間的余裕をもって問い合わせてください。なお、入学試験や各種手続等が休日に行われる場合は、当該業務及びそれに関連する問い合わせ対応のみを行います。

**新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う試験実施上の対応について**

令和5（2023）年度に実施する令和6年度入学者選抜試験の実施について、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって試験実施上の変更が生じた場合は各選抜の「学生募集要項」及び本学「学部入試情報サイト」で周知しますので、随時確認してください。

なお、入学者選抜要項公表の時点で決定している対応は次のとおりです。

**(1) 学校推薦型選抜における推薦要件の緩和**

出願資格のうち「基礎資格」の対象となりうる者が新型コロナウイルス感染症の影響下にあったことを考慮し、次に示す類・コース・プログラムの推薦要件を引き続き緩和します。

**① A・B類保健体育コース、E類生涯スポーツコース**

「～に選手として出場した者」としている推薦要件を、「～に選手として出場した者あるいはそれに準ずる実績や能力を有する者」とします。

**② A類現代教育実践コース国際教育プログラム**

「国際交流活動に参加した経験を有する者」としている推薦要件を、「国際交流活動に参加した経験を有する者あるいは国際交流活動への参加を計画していた者」とします。

**(2) 追試験の実施について**

教育学部入学者選抜にかかる全ての試験について、追試験の実施予定はありません。



## Ⅱ. 東京学芸大学教育学部 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

### 【教育学部共通】

東京学芸大学は、豊かな教養と広い視野をもち、教育の諸課題や人間の発達についての深い理解と、専門的な学識・技能をもって、社会のさまざまな分野で教育的、協働的な実践を進めることができ、未来を切り拓くことができる「有為の教育者」を志す人を求めています。

このため、本学では学生が次のような目標をもって、大学の講義や演習、実習（教育実習等）、実験や自主ゼミナールに意欲的に取り組み、更にサークル活動、インターンシップ、ボランティア活動、海外や実社会での各種の体験活動等を通して、有意義で密度の濃い大学生活を送ることを期待します。

1. 深い教養と豊かな知識を身に付け、知的な創造力や探究心を磨き、教科等の専門的な学びを深めること
2. 子どもに対する愛情と教える喜びを育むこと
3. 社会の変化や多様な教育課題に関心を持ち、学校や社会をより良く変革する力を育むこと
4. 柔軟な感性と豊かなコミュニケーション能力、他者と協働する力や困難な諸課題にしなやかに対応する力を育むこと
5. 共生社会の実現に貢献し、国際的視野を身に付けること

本学は「有為の教育者」として直接に人間とかかわる人材を養成することから、入学者に対しては、特に、教師や教育支援人材への志望意欲を有していることを求めています。その上で、以下に述べるような各課程・専攻の教育内容に関わる学修を高等学校段階までに達成しているのみならず、多様な人々との豊富な相互交流の経験を有していることを期待しています。

本学は、一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）、学校推薦型選抜等の方法で入学者の選抜を行います。

一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストを利用し、教育者を目指すにあたり基礎的な学習到達度を評価するとともに、教師又は教育支援人材への意欲・適性及び各課程・専攻・コースに必要とされる知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を学科試験や実技試験、面接や小論文により評価します。

また、一般選抜（後期日程）では、前期日程同様大学入学共通テストを利用し、教育者を目指すにあたり基礎的な学習到達度を評価するとともに、教師又は教育支援人材への意欲・適性及び各課程・専攻・コースに必要とされる知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を面接や小論文、実技試験により評価します。

学校推薦型選抜では、各課程・専攻・コースにおいて面接や小論文、実技試験を行い、教育者になる強い意欲を有するかを評価するとともに、必要とされる知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を有するかを評価します。

この他、スーパーアスリート推薦選抜、帰国生選抜、私費外国人留学生選抜、国際バカロレア選抜など、多様な選抜方法によって、多様な人材を受け入れることを目指しています。

### 【学校教育教員養成課程】

#### 〈初等教育専攻（A類）〉

本専攻は、小学校の全教科等に関する幅広い知識・技能・指導力とともに、特定の教科や横断的領域に関する専門性をも兼ね備えた小学校の教師、または幼児教育の専門的知識・技能・指導力を備えた幼稚園の教師の養成を目的としています。

なお、日本の小学校においては、教科担任制が一部で導入されているものの、基本的に全科担任となっ



## II. 東京学芸大学教育学部 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

ており、また、幼稚園においては、領域を総合的に指導する担任制となっていることから、本専攻の入学者に対しては、どのコース（プログラム）においても、小学校・幼稚園で扱う教育内容に関連する諸科目等を高等学校段階まで幅広く学修し、教科等の指導の前提となる知識・技能を満遍なく身に付けていることを期待しています。

### 〈中等教育専攻（B類）〉

本専攻は、中学校・高等学校の教科に関する高度な専門性と、優れた実践力を兼ね備えた教師を養成することを目的としています。

なお、日本の中学校・高等学校においては、基本的に教科ごとの担任制となっていることから、本専攻の入学者に対しては、それぞれのコースにおいて養成する教師の担当教科に関連する諸科目を高等学校段階まで学修し、教科の指導の前提となる知識・技能を満遍なく身に付けていることを期待しています。

### 〈特別支援教育専攻（C類）〉

本専攻は、特別支援教育全般とともに、聴覚障害、言語障害、知的発達障害、学習障害に関する高い専門性と優れた実践力を兼ね備えた教育者の養成を目的としています。

なお、日本の特別支援学校においては、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を施すことから、本専攻の入学者に対しては、それぞれの学校で扱う教育内容に関連する諸科目等を高等学校まで学修し、教科等の指導の前提となる知識・技能を満遍なく身に付けていることを期待しています。

### 〈養護教育専攻（D類）〉

本専攻は、子どもの多様で複雑な健康課題に対応し、発達段階を踏まえて心とからだの両面から子どもの健康支援ができる養護教諭の養成を目的としています。

養護教諭になるには、児童生徒、教職員の実態に即した健康相談や健康教育、保健指導等が実践できる専門的知識と技術を、大学4年間で身に付ける必要があります。そこで本専攻では、人間の健康や病気を理解する基礎力として、大学入学までに、特に「生物」と「保健」をしっかり学修して、入学されることを期待しています。

## 【教育支援課程】

### 〈教育支援専攻（E類）〉

教育をめぐる現在の日本の社会状況は非常に複雑なものとなっています。そのため、学校・家庭・地域が連携しつつ、教育の営みを幅広く支援していく必要があります。

本専攻では、教育の基礎知識や教育に関する諸課題についての知識、教育支援の専門知識、ならびに協働力・ネットワーク力・マネジメント力を習得することを通じて、学校現場と協働して、様々な現代的教育課題の解決を支援する意欲と能力を備え、自ら考え行動できる教育支援人材を養成します。

そこで本専攻では、このような教育理念に共鳴するとともに、様々な教育現場をフィールドにして高度の実践力を身に付け、将来、学校、地域、教育行政、教育関連企業、教育関連NPO等の場で教育支援人材として活躍することに、強い意志と意欲を持って学ぼうとする人を求めています。

なお、本専攻の入学者に対しては、高等学校段階までの各教科などの基礎的な学力をもとに、教育・人間・社会・文化・スポーツ・情報などに関する問題や課題に広く関心を寄せ、それらに取り組む意欲や態度を有していることを期待しています。

### Ⅲ. 教育学部における課程、専攻（類）、コース・プログラムの募集人員等

#### 1. 入学定員及び募集人員

課程	専攻（類）	コース・プログラム	入学定員	募集人員（注1～3）								特別事項 （注4）	
				一般選抜		学校推薦型選抜	スパーアスリート 推薦選抜	帰国生選抜	留学生選抜	私費外国人 留学生選抜	国際バカロレア 選抜		高大接続プログラム 特別入試
				前期日程	後期日程								
学校教育教員養成課程	初等教育専攻（A類）	国語コース	80	55	10	15	—	△	△	△	△	⑦	
		社会コース	70	50	20	—	—	△	△	△	△	③	
		数学コース	65	50	15	—	—	△	△	△	△	④	
		理科コース	85	60	25	—	—	△	△	△	△	⑤	
		音楽コース	25	20	5	—	—	△	△	—	△		
		美術コース	25	15	—	10	—	△	△	△	△		
		保健体育コース	40	30	—	10	—	△	△	△	△		
		家庭コース	15	12	—	3	—	△	△	△	△	①	
		英語コース	15	8	—	7	—	△	△	△	△		
		現代教育実践 コース	学校教育プログラム	20	15	5	—	—	△	△	△	△	
			学校心理プログラム	20	12	8	—	—	△	△	△	△	
			国際教育プログラム	15	12	—	3	—	△	△	△	△	
			環境教育プログラム	20	15	5	—	—	△	△	—	△	
		ものづくり技術コース	10	8	—	2	—	△	△	△	△	②	
	幼児教育コース	20	16	—	4	—	△	△	—	△			
	(小計)	525	378	93	54	—							
	中等教育専攻（B類）	国語コース	20	15	—	5	—	△	△	△	△		
		社会コース	25	20	5	—	—	△	△	△	△	③	
		数学コース	25	20	5	—	—	△	△	△	△	④	
		理科コース	45	30	15	—	—	△	△	△	△	⑤	
		音楽コース	20	15	5	—	—	△	△	—	△		
		美術コース	20	15	—	5	—	△	△	△	△		
		保健体育コース	20	10	—	10	—	△	△	△	△		
家庭コース		10	8	—	2	—	△	△	△	△	①		
技術コース		10	8	—	2	—	△	△	△	△	②		
英語コース		15	8	—	7	—	△	△	△	△			
書道コース		20	16	—	4	—	△	△	—	△			
情報コース		20	15	5	—	—	△	△	△	△			
(小計)	250	180	35	35	—								
特別支援教育専攻（C類）	40	30	5	5	—	△	△	△	△	⑥			
養護教育専攻（D類）	養護教育コース	10	6	—	4	—	△	△	—	△			
【合計】	825	594	133	98	—								
教育支援課程	教育支援専攻（E類）	生涯学習・文化遺産教育コース	35	30	5	—	—	△	△	△	—		
		カウンセリングコース	20	13	—	7	—	△	△	△	—		
		ソーシャルワークコース	20	18	—	2	—	△	△	—	—		
		多文化共生教育コース	40	30	10	—	—	△	△	△	—		
		情報教育コース	15	10	5	—	—	△	△	△	—		
		表現教育コース	20	15	—	5	—	△	△	—	—		
	生涯スポーツコース	35	18	—	7	10	△	△	△	—			
【合計】	185	134	20	21	10								
総計	1,010	728	153	119	10								

※ 注記は次ページに記載しています。

### Ⅲ. 教育学部における課程、専攻（類）、コース・プログラムの募集人員等

(注1) 募集人員において「―」は募集なし、「△」は若干名の募集を表します。

(注2) 帰国生選抜、私費外国人留学生選抜、国際バカロレア選抜、高大接続プログラム特別入試(※)の募集人員「若干名」は、入学定員に含みます。

(※) 東京学芸大学附属高等学校及び東京学芸大学附属国際中等教育学校からの特別入試。

(注3) 学校推薦型選抜・スーパーアスリート推薦選抜の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

(注4) 特別事項は「2. 類・コース別の特別事項」を参照すること。

## 2. 類・コース別の特別事項

### (1) 一般選抜〔前期日程〕において第2志望を認めるコース

#### ① A類家庭コース・B類家庭コースの間

A類の志願者はB類を第2志望とすることができ、B類の志願者はA類を第2志望とすることができません。

#### ② A類ものづくり技術コース・B類技術コースの間

A類の志願者はB類を第2志望とすることができ、B類の志願者はA類を第2志望とすることができません。

### (2) 一般選抜〔後期日程〕において第2志望を認めるコース

#### ③ A類社会コース・B類社会コースの間

A類の志願者はB類を第2志望とすることができ、B類の志願者はA類を第2志望とすることができません。

#### ④ A類数学コース・B類数学コースの間

A類の志願者はB類を第2志望とすることができ、B類の志願者はA類を第2志望とすることができません。

#### ⑤ A類理科コース・B類理科コースの間

A類の志願者はB類を第2志望とすることができ、B類の志願者はA類を第2志望とすることができません。

(注) (1)及び(2)の第2志望を認めるコース間においては、A・B両類を合併して選抜を行い、志願先の類を優先して合格者を決定します。

### (3) コースの決定を第2学年進級時に行う専攻

#### ⑥ 特別支援教育専攻（C類）

この専攻には「聴覚障害・言語障害系コース」及び「発達障害・学習障害系コース」の2コースがあり、コースの決定は第2学年進級時に行います。

※ 入学者選抜は専攻単位で行います。

### (4) サブコースの決定を第2学年進級時に行うコース

#### ⑦ A類国語コース

このコースには「日本語教育サブコース」があり、サブコースの決定は第2学年進級時に行います。

## IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

### 1. 出願資格

大学入学資格を有する者（令和6年3月31日までに有する見込みの者を含む）で、かつ、本学が指定する令和6年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目をすべて受験した者

大学入学資格を有する者とは、次の(1)から(3)のいずれかを満たす者を言います。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（注1）
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の①から⑧のいずれかに該当する者
  - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
  - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
  - ④ 文部科学大臣の指定した者（注2）
  - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
  - ⑥ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
  - ⑦ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、本学の教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（注3）
  - ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者（注3）

（注1）特別支援学校高等部又は高等専門学校第3学年を修了した者が該当します。

（注2）外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ）、バカロレア資格（フランス）、GCEALevel資格（英国）のいずれかを有する者、国際的な評価団体（WASC、ACSI、NEASC、CIS）から認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者等が該当します。

（注3）上記大学入学資格の(3)⑦又は⑧により出願しようとする者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければならないので、以下の要領で申請書類を提出してください。

#### ◇提出書類

1. 申請書（所定様式；学部入試情報サイトに掲載）
2. 卒業（修了）証明書（見込みの場合は見込証明書）
3. 調査書又は成績証明書等（出身学校の長が作成し、厳封したもの）
4. 出身学校等の教育課程が明らかとなる資料（学則、カリキュラム表、授業時間数一覧など）
5. 返信用封筒（長形3号封筒に返送先を明記し、書留速達による返信用郵便切手（779円分）を貼付）  
\*上記2～4.の書類については「高等学校の課程に相当する課程以降の学歴に関するものすべて」を提出。  
\*必要に応じて追加で証明書等の提出を求める場合があります。

◇審査体制・審査方法：本学学部入試委員会において、提出書類等に基づき適正に審査を行います。

◇提出先：東京学芸大学 学務部入試課学部入試係（郵送のみ）

#### ◇申請期間

- 第1回（大学入学共通テストに出願する者）… 令和5年8月23日（水）～8月25日（金）期間内必着  
第2回（大学入学共通テスト受験後に志望を変えて本学への出願を希望する者）  
… 令和6年1月16日（火）～1月18日（木）期間内必着

#### ◇申請方法

- ・封筒の表に「第〇回 入学資格審査申請書類在中」と明記してください。
- ・申請は郵送（書留速達）としてください。

#### ◇審査結果の通知

本学が定める様式により申請者本人に通知します。本学への入学資格を認定された者は、令和6年度一般選抜の出願時に認定書のコピー1部が必要となります。

## 2. 出願期間

令和6年1月22日（月）から同年2月2日（金）まで〔書留速達郵便・両日程とも期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、1月31日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

## 3. 併願

- (1) 志願者は国公立大学について、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部（本学においては課程，専攻，コース・プログラム）に出願することができます。同一日程どうし（「前期－前期」，「後期－後期」）の併願はできません。ただし，独自日程で試験を実施する公立大学・学部は含まれません。
- (2) 前項(1)については，両日程を本学（選抜を実施する課程，専攻，コース・プログラムに限る）とすることができます（学内併願）。

## 4. 選抜方法

大学入学共通テストと東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。大学入学共通テストの成績では学力の3要素のうち「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素のすべて及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性をもって多様な人々と行動して学ぶ態度」及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。

なお，大学入学共通テストの各科目得点及び合計得点と，東京学芸大学入学試験の各科目得点のうち，いずれか1つでも本学の定めた基準点（令和6年5月頃に公表予定）に達していない場合は，総合点の如何にかかわらず不合格とします。また，本学が指定した東京学芸大学入学試験の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は，選抜の対象から除外します。

## 5. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等（共通事項）

- (1) 本学では大学入学共通テストの過年度の成績は利用しないので，令和6年度大学入学共通テストを必ず受験してください。本学が指定する教科・科目を1つでも受験していない者は出願無資格者となります。
- (2) 科目名については，次のとおりに省略して表記している箇所があります。

世界史B→世B，日本史B→日B，現代社会→現社，『倫理，政治・経済』→倫政経，  
『数学Ⅰ・数学A』→数ⅠA，『数学Ⅱ・数学B』→数ⅡB，『簿記・会計』→簿会，情報関係基礎→情報，  
物理基礎→物基，化学基礎→化基，生物基礎→生基，地学基礎→地基，物理→物，化学→化，生物→生，地学→地，  
英語→英，ドイツ語→独，フランス語→仏，中国語→中，韓国語→韓

- (3) 本学で成績を利用できる大学入学共通テストの教科・科目は下表のとおりとします。志願先によって教科における利用科目数が異なるので「6. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表」で確認してください。

教科	本学で成績を利用できる科目	備考
国語	国語	分野別の成績利用はしません。
地理歴史	世B，日B，地理B	世界史A，日本史A，地理Aは指定外科目です。
公民	現社，倫政経	倫理，『政治・経済』は指定外科目です。
数学	① 数ⅠA	数学Ⅰは指定外科目です。
	② 数ⅡB，簿会，情報	(4)を参照すること。また，数学Ⅱは指定外科目です。
理科	① 物基，化基，生基，地基	2科目で1科目相当の成績として取り扱います。
	② 物，化，生，地	
外国語	英，独，仏，中，韓	(6)を参照すること。

#### IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

- (4) 「数学②」において『簿記・会計』、『情報関係基礎』の成績を利用できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において専門教育を主とする学科等における専門教育に関するこれらの科目を履修した者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科の修了（見込み）者及び大学入学資格検定合格者のうちこれらの科目の合格者に限ります。  
 なお、「社会と情報」及び「情報の科学」は普通教育に関する科目です。

- (5) 「理科」の選択方法は下表のとおりとします。

利用科目数	選択方法
1科目利用	下に示すA、Bのいずれか。 A／「物基、化基、生基、地基」から2科目 B／「物、化、生、地」から1科目
2科目利用	下に示すC、Dのいずれか。 C／「物基、化基、生基、地基」から2科目及び「物、化、生、地」から1科目 ※同一名称を含む科目（物理基礎と物理など）の利用を可とします。 D／「物、化、生、地」から2科目

- (6) 「外国語」において「英語」を受験（選択解答）した者は、**リーディングとリスニングの両方の成績を利用します**（成績利用時のリーディング及びリスニングの配点比率は1対1とします）。ただし、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングの受験が免除された場合は、リーディングの成績のみ利用し所定の配点に換算します。
- (7) 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科②」の試験時間において2科目を解答する場合は、解答順に第1解答科目、第2解答科目とします。
- (8) 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科（①及び②）」において、本学が成績を利用する科目数を超えて受験（選択解答）していた場合の取り扱いは下表のとおりです。ただし、B類音楽コース及びB類美術コースについては次項(9)を参照してください。  
 なお、(a)又は(c)に該当する場合は(10)についてもあわせて留意してください。

状況	取り扱い
(a)「地理歴史」及び「公民」から1科目の成績を利用するところ、2科目を受験	第1解答科目の成績を利用します。
(b)「理科」から1科目分の成績を利用するところ、2科目分を受験	(5)Cの選択方法の場合は、高得点の1科目分の成績を利用します。 (5)Dの選択方法の場合は、第1解答科目の成績を利用します。
(c)「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」から3科目分の成績を利用するところ、どちらも2科目分の計4科目分を受験	(5)Cの選択方法の場合は、地理歴史及び公民の第1解答科目の成績を必ず利用し、残りは高得点の2科目分の成績を利用します。 (5)Dの選択方法の場合は、地理歴史及び公民並びに理科のそれぞれ第1解答科目の成績を必ず利用し、残りは高得点の1科目の成績を利用します。

- (9) B類音楽コース及びB類美術コースにおいて国語及び外国語を除く教科の成績利用方法については、「地理歴史」、「公民」及び「理科」の3教科から1教科につき1科目分、並びに「数学①」の4教科4科目分から高得点の3科目分の成績を利用します。  
 なお、地理歴史から2科目を受験していた場合は第1解答科目の成績を利用し、理科から2科目分を受験していた場合の取り扱いは(8)(b)と同様とします。また、(10)についてもあわせて留意してください。
- (10) 「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験している者が、当該教科において1科目の成績を利用する類・コース等（パターンⅡ・Ⅳ）又は当該教科を含めた複数教科から3科目の成績を利用する類・コース等（パターンⅢ・Ⅴ）に出願した場合、第2解答科目で本学が指定する科目を受験していても、第1解答科目で指定外の科目を受験していた場合は、志願者が想定した科目の成績が利用されないこと又は受験科目不足による無資格者となることがあります。本学指定外の科目と組み合わせて受験（選択解答）を行う場合は解答順に十分注意してください（各パターンについては「6. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表」で確認すること）。

IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

6. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表

以下に大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の指定パターンと、その対象となる類・コースを示します。「事前確認欄」は大学入学共通テスト出願時、受験教科及び科目数を登録する際の確認用として使用してください。また、大学入学共通テスト受験後、各教科において本学が指定した科目及び科目数を満たしているかを「受験後確認欄」で確認してください。

パターンⅠ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			事前 確認欄	受験後 確認欄
対象となる類・コース	教科	科目等	指定科目数		
A類社会 B類社会 E類多文化共生教育	国語	国語	必須		
	地理歴史	世B, 日B, 地理B	} 2		
	公民	現社, 倫政経			
	理科	① 物基, 化基, 生基, 地基 (2科目で1科目相当)	} 1		
		② 物, 化, 生, 地			
	数学	① 数ⅠA	必須		
		② 数ⅡB, 簿会, 情報	1		
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓 (英語はリスニングが必須)	1			
〔5教科7科目又は6教科7科目〕					

パターンⅡ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			事前 確認欄	受験後 確認欄
対象となる類・コース	教科	科目等	指定科目数		
A類数学 A類理科 A類ものづくり技術 B類数学 B類理科 B類技術 B類情報 D類養護教育 E類情報教育	国語	国語	必須		
	地理歴史	世B, 日B, 地理B	} 1		
	公民	現社, 倫政経			
	理科	① 物基, 化基, 生基, 地基 (2科目で1科目相当)	} 2		
		② 物, 化, 生, 地			
	数学	① 数ⅠA	必須		
		② 数ⅡB, 簿会, 情報	1		
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓 (英語はリスニングが必須)	1			
〔5教科7科目〕					

パターンⅢ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			事前 確認欄	受験後 確認欄
対象となる類・コース	教科	科目等	指定科目数		
A類国語 A類家庭 A類英語 A類現代教育実践(全プログラム) A類幼児教育 B類国語 B類家庭 B類英語 C類 E類生涯学習・文化遺産教育 E類カウンセリング E類ソーシャルワーク E類表現教育	国語	国語	必須		
	地理歴史	世B, 日B, 地理B	} 1又は2		
	公民	現社, 倫政経			
	理科	① 物基, 化基, 生基, 地基 (2科目で1科目相当)		} 1又は2	
		② 物, 化, 生, 地			
	数学	① 数ⅠA	必須		
		② 数ⅡB, 簿会, 情報	1		
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓 (英語はリスニングが必須)	1			
〔5教科7科目又は6教科7科目〕					

Ⅳ. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

パターンⅣ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			事前 確認欄	受験後 確認欄
対象となる類・コース	教科	科目等	指定科目数		
A類音楽 A類美術 A類保健体育 B類保健体育 B類書道 E類生涯スポーツ	国語	国語	必須		
	地理歴史	世B, 日B, 地理B	} 1		
	公民	現社, 倫政経			
	理科	① 物基, 化基, 生基, 地基 (2科目で1科目相当) ----- ② 物, 化, 生, 地	} 1		
	数学	① 数ⅠA		必須	
	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓 (英語はリスニングが必須)	1		
				[5教科5科目]	

パターンⅤ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			事前 確認欄	受験後 確認欄	
対象となる類・コース	教科	科目等	指定科目数			
B類音楽 B類美術	国語	国語	必須			
	地理歴史	世B, 日B, 地理B	1	} 3		
	公民	現社, 倫政経	1			
	理科	① 物基, 化基, 生基, 地基 (2科目で1科目相当) ----- ② 物, 化, 生, 地	} 1			
	数学	① 数ⅠA				
	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓 (英語はリスニングが必須)	1			
				[5教科5科目]		



IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

7. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等

(1-1) 試験期日〔前期日程〕 …… 令和6年2月25日(日)・2月26日(月)

(1-2) 試験日及び実施方法〔前期日程〕

課程	類・コース (PG:プログラム)	試験日	実施方法(注1)				摘要	
			学力検査	小論文	実技検査	面接		
学校教育 教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	—		
	A 類 社 会 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	—		
	A 類 数 学 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	—		
	A 類 理 科 コ ー ス	2月25日(日)	◎2	◎	—	—		
	A 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	—	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。	
	A 類 美 術 コ ー ス	2月25日(日)	—	—	◎	◎		
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	—	◎	—		
	A 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	—		
	A 類 英 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	—	—	◎		
	A類現代教育 実践コース	学校教育PG	2月25日(日)	—	◎	—	—	面接は口頭試問を含む。
		学校心理PG	2月25日(日)	—	—	—	◎	
		国際教育PG	2月25日(日)	—	—	—	◎	
		環境教育PG	2月25日(日)	◎1~2	◎	—	—	
	A類ものづくり技術コース	2月25日(日)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。作品やそれを提示するための資料等の持ち込みを不可とする。	
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	2月25日(日)	—	—	◎	◎		
	B 類 国 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	—		
	B 類 社 会 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	—		
	B 類 数 学 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	—		
	B 類 理 科 コ ー ス	2月25日(日)	◎2	◎	—	—		
	B 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	—	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。	
	B 類 美 術 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	—	◎	—		
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	—	◎	—		
	B 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	—		
	B 類 技 術 コ ー ス	2月25日(日)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。作品やそれを提示するための資料等の持ち込みを不可とする。	
	B 類 英 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	—	—	◎		
	B 類 書 道 コ ー ス	2月25日(日)	◎	—	◎	◎		
	B 類 情 報 コ ー ス	2月25日(日)	◎	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。	
C 類	2月25日(日)	—	◎	—	◎			
D 類 養 護 教 育 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎			
教育支援課程	E類生涯学習・文化遺産教育コース	2月25日(日)	—	◎	—	—		
	E類カウンセリングコース	2月25日(日)	—	—	—	◎		
	E類ソーシャルワークコース	2月25日(日)	—	◎	—	—		
	E類多文化共生教育コース	2月25日(日)	—	◎	—	—		
	E類情報教育コース	2月25日(日)	◎	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。	
	E類表現教育コース	2月25日(日)	—	◎	—	—		
	E類生涯スポーツコース	2月25日(日) 2月26日(月)	—	—	◎	—		

(注1) ◎印は受験が必須であることを、—印は受験を要しないことを表す。◎印に付された数字は課す科目数を示す(記載のないものは1教科又は1科目を課すことを示す)。

IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

(2-1) 試験期日〔後期日程〕 …… 令和6年3月12日(火)・3月13日(水)

(2-2) 試験日及び実施方法〔後期日程〕

課程	類・コース (PG:プログラム)	試験日	実施方法(注1)				摘要	
			学力検査	小論文	実技検査	面接		
学校教育 教員養成 課程	A 類 国 語 コ ー ス	3月12日(火)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。	
	A 類 社 会 コ ー ス	3月12日(火)	—	—	—	◎		
	A 類 数 学 コ ー ス	3月12日(火)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。	
	A 類 理 科 コ ー ス	3月12日(火)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。	
	A 類 音 楽 コ ー ス	3月12日(火) 3月13日(水)	—	—	◎	◎	日程の詳細は別途通知する。	
	A類現代教育 実践コース	学校教育PG	3月12日(火)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。
		学校心理PG	3月12日(火)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。
		環境教育PG	3月12日(火)	—	—	—	◎	
	B 類 社 会 コ ー ス	3月12日(火)	—	—	—	◎		
	B 類 数 学 コ ー ス	3月12日(火)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。	
	B 類 理 科 コ ー ス	3月12日(火)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。	
	B 類 音 楽 コ ー ス	3月12日(火) 3月13日(水)	—	—	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。	
	B 類 情 報 コ ー ス	3月12日(火)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。	
C 類	3月12日(火)	—	◎	—	◎			
教育支援 課程	E類生涯学習・文化遺産教育コース	3月12日(火)	—	—	—	◎		
	E類多文化共生教育コース	3月12日(火)	—	—	—	◎		
	E類情報教育コース	3月12日(火)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。	

(注1) ◎印は受験が必須であることを、—印は受験を要しないことを表す。◎印に付された数字は課す科目数を示す(記載のないものは1教科又は1科目を課すことを示す)。

IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

(3) 学力検査の詳細

対象の類・コース	学力検査の教科・科目等		必須又は 必要科目数	摘要	試験時間 (予定)
	出題教科	出題科目 (範囲)			
A類国語コース B類国語コース B類書道コース	国語	国語総合 現代文A 現代文B 古典A 古典B	必須		120分
A類社会コース B類社会コース	地理歴史 ----- 公民	日本史B 世界史B 地理B ----- 現代社会 倫理 政治・経済	1科目		120分
A類数学コース B類数学コース B類情報コース E類情報教育コース	数学	数学I 数学II 数学III 数学A 数学B	必須	数学Aは場合の数と確率, 整数の性質, 図形の性質. 数学Bは数列, ベクトル.	120分
A類理科コース B類理科コース	理科	(a) 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 ----- (b) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学	1 } 計2科目 1 }	(a)・(b)各欄から1科目ずつの計2科目を選択する。ただし, (a)-(b)間において同一名称を含む科目の選択は不可。(例えば「物理基礎」と「物理基礎・物理」の組み合わせは不可。)	120分 (2科目計)
A類英語コース B類英語コース	外国語 (英語)	コミュニケーション英語I コミュニケーション英語II コミュニケーション英語III 英語表現I 英語表現II (ディクテーションを含む)	必須	試験時間のうち, 筆記試験が90分, ディクテーションが約10分	約120分
A類現代教育実践コース (環境教育プログラム)	理科 ----- 地理歴史 ----- 公民	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 ----- 日本史B 世界史B 地理B ----- 現代社会 倫理 政治・経済	2科目 ----- 1科目	「理科」又は「地理歴史・公民」のどちらかを選択する。	120分 (理科の場合は2科目計)

## 8. 小論文の概要

## 【前期日程】

## (1) A類国語コース・B類国語コース

国語教育や日本語教育に関する課題とともにアドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

## (2) A類社会コース・B類社会コース

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

## (3) A類数学コース・B類数学コース

数学に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

## (4) A類理科コース・B類理科コース

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

## (5) A類家庭コース・B類家庭コース

生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

## (6) A類現代教育実践コース（学校教育プログラム）

学校内外の教育に関する諸問題についての課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

## (7) A類現代教育実践コース（環境教育プログラム）

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、課題に対する理解力・分析力を総合的に評価するとともに、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

## (8) C類（特別支援教育専攻）

教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、論理構成力、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

## (9) D類養護教育コース

社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

## (10) E類生涯学習・文化遺産教育コース

生涯学習・文化遺産教育に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

## (11) E類ソーシャルワークコース

社会福祉に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力、思考力、表現力等を総合的に評

#### IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

##### (12) E類多文化共生教育コース

異文化理解や多文化共生に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

##### (13) E類表現教育コース

芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

#### 【後期日程】

##### (1) C類（特別支援教育専攻）

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

### 9. 実技試験等の内容

実技試験を課す類・コース及び試験科目名称は以下のとおりです。選択問題、選択競技・種目、選択課題及び選択する管弦打楽器は希望するものを出願時に登録すること。出願後及び試験場での変更は認めません。

対象の類・コース	科目名称	備考
A類美術コース	図工・美術実技	選択問題
B類美術コース	美術実技	選択問題
A類保健体育コース B類保健体育コース E類生涯スポーツコース	体育実技	試験競技・種目を選択
A類幼児教育コース	音楽素質検査	
B類書道コース	書道実技・書道理論	
A類音楽コース	共通試験	A類は前期日程のみ
B類音楽コース	音楽実技	実技課題を選択

##### (1) 図工・美術実技の内容（A類美術コース対象）

選択問題（次の2科目から1つを選択）

- (a) 小論文（2時間、図工・美術教育について出題し、論述させ、基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価する。）
- (b) 鉛筆による静物デッサン（2時間）

##### (2) 美術実技の内容（B類美術コース対象）

選択問題（次の2科目から1つを選択）

- (a) 小論文（2時間、美術史について出題し、論述させ、基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価する。）
- (b) 石膏デッサン（4時間、鉛筆又は木炭、併用も可）

IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

(3) 体育実技の内容（A類・B類保健体育コース、E類生涯スポーツコース対象）

- ① A類の志願者は⑦から1競技、⑧から1競技の計2競技を選択受験してください。  
 ・⑦で選択する競技は、出願書類「体育調査票」の「専門競技」欄に記入する競技と一致させること。  
 ただし、記入した競技が⑦にない場合はその限りではありません。  
 ・⑦及び⑧について、両方を「個人競技」又は「チーム競技」とすることはできません。
- ② B類、E類の志願者は1競技を選択受験してください。

対象の類	試験競技一覧		
A類	⑦午前	個人競技	陸上競技*、器械運動（マット・とび箱・鉄棒）、水泳、剣道、柔道、硬式テニス、ソフトテニス、卓球、ダンス
		チーム競技	バレーボール、バスケットボール、サッカー、野球（男子は硬式野球、女子はソフトボール）、ラグビー、ハンドボール
	⑧午後	個人競技	陸上競技（50mハードル走）、器械運動（マット・鉄棒）、ダンス
		チーム競技	バレーボール、バスケットボール、サッカー、ソフトボール
B類 E類	陸上競技*、器械運動（マット・とび箱・鉄棒）、水泳、剣道、柔道、硬式テニス、ソフトテニス、卓球、ダンス、バレーボール、バスケットボール、サッカー、野球（男子は硬式野球、女子はソフトボール）、ラグビー、ハンドボール		

\*印を付した陸上競技は、次の「陸上競技種目一覧」から1種目を選択すること。

陸上競技種目一覧
100m走、400m走、800m走、1500m走、1500m競歩、走り幅跳び、走り高跳び、三段跳び、棒高跳び、砲丸投げ、円盤投げ、やり投げ、男子55mハードル走（110mハードル走に準じる）、女子50mハードル走（100mハードル走に準じる）

(4) 音楽素質検査の内容（A類幼児教育コース対象）

科目	項目	内容
音楽素質検査 (2項目とも必須)	声楽	次の3曲のうちから任意の1曲を選択し歌う。選択曲は当日申告する。 (暗譜でなくともよい。試験官の伴奏による。) ① 赤とんぼ(変ホ長調) …… 三木露風 詞, 山田耕筰 曲 ② 花(ト長調) …………… 武島羽衣 詞, 滝廉太郎 曲 ③ 椰子の実(ト長調) …… 島崎藤村 詞, 大中寅二 曲
	ピアノ	平易な任意のピアノ独奏用楽曲1曲を弾く。曲は当日申告する。 (暗譜でなくともよい。ペダルの使用は自由。ピアノ独奏用楽曲とは、例えば「ブルグミュラー 25の練習曲」や「ソナチネ アルバム」のようなピアノ独奏用に作られた楽曲のことを指す。)

(5) 書道実技・書道理論の内容（B類書道コース対象）

科目	項目	内容	
書道実技・ 書道理論 (2項目とも必須)	書道実技	漢字の書	創作 ⑦ 書体 …… 楷書、行書（平易な草書を含む） ⑧ 題材 …… 2字から6字程度の語句 ⑨ 用紙 …… 半紙（33.5cm×24.5cm）
		仮名の書	臨書 用紙 …… 半紙（同）
		漢字仮名交じりの書	創作 ⑦ 題材 …… 短歌、俳句など ⑧ 用紙 …… 小画仙紙半折 1/3（45cm×35cm）
	書道理論	日本・中国書道史、書道理論（例：書道用語）等	

(注) 実技試験に際しては次のものを準備すること。

大筆（小画仙紙半折用も含む）、小筆、硯、墨（固形墨を磨墨して持参するか、市販の液体墨でもよい）、文鎮、下敷き（小画仙紙半折用及び半紙用。ただし、罫線や枠が入ったものは不可）、室内靴、外用靴を入れる袋。

IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

(6) 共通試験の内容（A類（前期のみ）・B類音楽コース対象）

- ㊦ 楽典（高等学校卒業程度の音楽に関する問題を含む）
- ㊧ 聴音（単旋律及び大譜表による4声体和声）
- ㊨ 新曲視唱

(7-1) 音楽実技の内容（A類音楽コース対象）

- ① 下表のⅠ・Ⅱのいずれかを選択すること（出願時に登録）。
- ② 選択した番号内の試験項目はすべて必須となる（例 Ⅰ 選択者…声楽、ピアノが必須）。
- ③ 前期・後期日程で課題の内容が異なる項目があるので注意すること。
- ④ 楽譜の出版社は特に指定がない場合は不問とする。
- ⑤ 暗譜の指定がないものは楽譜の使用を認める。ただし、譜めくりは各自の責任とする。

番号	項目	日程	課題
Ⅰ	声楽	前期 後期	自由曲を1曲、原語かつ暗譜で歌う（調は自由。B類の声楽課題曲〔別表2〕から選んでもよい）。オペラ及びオラトリオのアリアについては原調とする。ただし、通常歌われている調に関してはその限りではない。自由曲の楽譜は出願時に2部提出すること（B類の声楽課題曲から選ぶ場合も同じ）。なお、楽譜は1ページA4の大きさとし、テープ等で製本しないこと。
	ピアノ	前期	次の中から任意の1曲を選び、第1楽章を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・J.Haydn：ソナタ ヘ長調 Hob.XVI:23</li> <li>・J.Haydn：ソナタ ロ短調 Hob.XVI:32</li> <li>・W.A.Mozart：ソナタ ハ短調 KV457</li> <li>・W.A.Mozart：ソナタ ハ長調 KV545</li> <li>・L.v.Beethoven：ソナタ第1番 ヘ短調 Op.2-1</li> <li>・L.v.Beethoven：ソナタ第10番 ト長調 Op.14-2</li> </ul>
		後期	次の作曲家の作品から任意の1曲を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。 （組曲やソナタからの楽章等の抜粋は可。ただし変奏曲の抜粋は認めない。） J.S.Bach, J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethoven, F.Schubert, F.Mendelssohn
Ⅱ	声楽	前期 後期	Ⅰと同じ。
	ピアノ	前期	Ⅰ（前期）と同じ。
		後期	Ⅰ（後期）と同じ。
	管弦打楽器	フルート、クラリネット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、マリimba	
		前期	上記の楽器から1つを選択（出願時に申告）し、〔別表1〕で示す課題曲を演奏する。ただし、繰り返しは省略する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※コントラバスの借用を希望する場合は試験当日に申し出ること。</li> <li>※マリimba受験者には小太鼓基礎奏法を課す。</li> <li>※マリimba及び小太鼓は本学が用意したものを使用すること。</li> </ul>
後期	上記の楽器から1つを選択（出願時に申告）し、自由曲を1曲演奏する。繰り返しは省略し、無伴奏で演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※コントラバスの借用を希望する場合は試験当日に申し出ること。</li> <li>※マリimba受験者には自由曲のみ課し、小太鼓基礎奏法はありません。</li> <li>※マリimbaは本学が用意したものを使用すること。</li> </ul>		

IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

(7-2) 音楽実技の内容（B類音楽コース対象）

- ① 希望する専門分野に応じて、下表のⅠ～Ⅴから1つを選択すること（出願時に登録）。  
（声楽＝Ⅰ，ピアノ＝Ⅱ，管弦打楽器＝Ⅲ，作曲＝Ⅳ，音楽学＝Ⅴ）
- ② 選択した番号内の試験項目はすべて必須となる（例 Ⅰ 選択者…声楽，ピアノが必須）。
- ③ 前期・後期日程で課題の内容が異なる項目があるので注意すること。
- ④ 楽譜の出版社は特に指定がない場合は不問とする。
- ⑤ 暗譜の指定がないものは楽譜の使用を認める。ただし，譜めくりは各自の責任とする。

番号	項目	日程	課題
Ⅰ	声楽	前期 後期	1) 声楽課題曲9曲〔別表2〕のなかから3曲を選び，試験場で監督者から指定された1曲を，原語かつ暗譜で歌う。 2) 声楽課題曲9曲〔別表2〕以外の自由曲1曲を，原語かつ暗譜で歌う（調は自由）。オペラ及びオラトリオのアリアについては原調とする。ただし，通常歌われている調に関してはその限りではない。自由曲の楽譜は出願時に2部提出すること。なお，楽譜は1ページA4の大きさとし，テープなどで製本しないこと。
	ピアノ	前期 後期	J.S.Bach：6つの小プレリュードBWV933～938，又はインヴェンションとシンフォニアBWV772～801より任意の1曲を選び暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
Ⅱ	ピアノ	前期	L.v.Beethoven：ピアノソナタ第1番～第18番より任意の1曲を選び，第1楽章を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
		後期	下記の作曲家の作品から任意の1曲を選び暗譜で演奏する。繰り返しは省略。（組曲やソナタからの楽章等の抜粋は可。ただし変奏曲の抜粋は認めない。） J.S.Bach, J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethoven, F.Schubert, F.Mendelssohn, F.Chopin, R.Schumann, F.Liszt, J.Brahms
	声楽	前期	声楽課題曲9曲〔別表2〕のなかから <b>2曲</b> を選び，試験場で監督者から指定された1曲を，原語かつ暗譜で歌う。
		後期	声楽課題曲9曲〔別表2〕のなかから <b>3曲</b> を選び，試験場で監督者から指定された1曲を，原語かつ暗譜で歌う。
Ⅲ	管弦打楽器	前期	フルート，クラリネット，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，マリimba 上記の楽器から1つを選択（出願時に申告）し，〔別表3〕で示す課題曲を演奏する。ただし，繰り返しは省略する。 ※コントラバスの借用を希望する場合は試験当日に申し出ること。 ※マリimba受験者には小太鼓基礎奏法を課す。 ※マリimba及び小太鼓は本学が用意したものを使用すること。
		後期	上記の楽器から1つを選択（出願時に申告）し，自由曲を1曲演奏する。繰り返しは省略し，無伴奏で演奏する。 ※コントラバスの借用を希望する場合は試験当日に申し出ること。 ※マリimba受験者には自由曲のみ課し，小太鼓基礎奏法はありません。 ※マリimbaは本学が用意したものを使用すること。
	ピアノ	前期 後期	Ⅰと同じ。
	声楽	前期	Ⅱ（前期）と同じ。
		後期	Ⅱ（後期）と同じ。

（次ページへ続く）



IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

番号	項目	日程	課題
IV	作曲	前期 後期	1) 与えられた低音旋律及び高音旋律に4声体和声を作る(転調, 転移音を含む)。試験時間は90分。 2) 自作品(自筆又はコンピュータによる浄書, コピー可)を出願時に提出すること。形式, 演奏形態及び曲数は自由(提出作品についての面接試問を含む)。提出楽譜は返還しない。
	ピアノ	前期 後期	Iと同じ。
	声乐	前期	II(前期)と同じ。
後期		II(後期)と同じ。	
V	音楽学	前期	1) 小論文(80分) 2) 面接(口頭試問を含む)
		後期	1) 小論文(120分) 2) 面接
	ピアノ	前期 後期	Iと同じ。
	声乐	前期	II(前期)と同じ。
後期		II(後期)と同じ。	

IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

〔別表 1〕 A 類の管弦打楽器課題曲

フルート	E.Köhler : 35 Exercises Op.33, Book I [15 Easy Exercises] より No.6, 13 を演奏する。
クラリネット	H.Klosé : Exercises Journaliers [クラリネットのための日課練習] (A.Leduc 版) より No.1, 3, 4, 6 のなかから試験場で監督者から指定された 2 曲を演奏する。
ホルン・トランペット・トロンボーン・ユーフォニアム・テューバ	C.Kopprasch : Sixty Selected Studies Book I より No.1~7 のなかから試験場で監督者から指定された 2 曲を演奏する。
ヴァイオリン	R.Kreutzer : 42 Etüden より Nr.6, 8 のなかから試験場で監督者から指定された 1 曲を暗譜で演奏する。
ヴィオラ	R.Kreutzer : 42 Etüden より Nr.2, 5 のなかから試験場で監督者から指定された 1 曲を暗譜で演奏する (ヴィオラ用の版を使用のこと)。
チェロ	S.Lee : Vierzig leichte Etüden, Op.70 (Becker 編, Schott 版) より Nr.20, 24 を演奏する。
コントラバス	F.Simandl : 30 Etudes より No.6 イ長調を暗譜で演奏する。
マリンバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred 版) 39ETUDES より V, VIII を演奏する。</li> <li>• 小太鼓基礎奏法 : 1 つ打ち, 2 つ打ち (いずれも加速減速) のなかから試験場で監督者から指定された奏法を演奏する。</li> </ul>

〔別表 2〕 B 類の声乐課題曲

① G.B.Pergolesi	: Nina	(ト短調, ホ短調)
② F.Gasparini	: Caro laccio	(へ長調, 変ホ長調)
③ G.Paisiello	: Nel cor più non mi sento	(ト長調, へ長調)
④ L.v.Beethoven	: Ich liebe dich	(ト長調, へ長調)
⑤ J.Brahms	: Sonntag	(ト長調, へ長調)
⑥ F.Schubert	: Heidenröslein	(ホ長調, ニ長調)
⑦ 大中 寅二	: 椰子の実	(イ長調, ト長調)
⑧ 信時 潔	: 行々子	(嬰へ長調, ニ長調)
⑨ 山田 耕筰	: かやの木山の	(ニ長調, ハ長調)
1) ①~③は, イタリア歌曲集 1 (全音楽譜出版社), イタリア古典声乐曲集 1 (教育芸術社), 古典イタリア歌曲集 (カワイ出版) を使用すること。		
2) ⑦は, 2 番までを演奏すること。		

〔別表 3〕 B 類の管弦打楽器課題曲

フルート	J.Andersen : 24 Exercises, Op.21 より No.6, 13 を演奏する。
クラリネット	C.Rose (編) : クラリネットのための 32 の練習曲より No.1, 5, 9, 10 のなかから試験場で監督者から指定された 2 曲を演奏する。
ホルン・トランペット・トロンボーン・ユーフォニアム・テューバ	C.Kopprasch : Sixty Selected Studies Book I より No.7~16 のなかから試験場で監督者から指定された 2 曲を演奏する。
ヴァイオリン	R.Kreutzer : 42 Etüden より Nr.7, 12 のなかから試験場で監督者から指定された 1 曲を暗譜で演奏する。
ヴィオラ	R.Kreutzer : 42 Etüden より Nr.4, 7 のなかから試験場で監督者から指定された 1 曲を暗譜で演奏する (ヴィオラ用の版を使用のこと)。
チェロ	ドッツァウアー : チェロ教本 (小沢弘編著, 音楽之友社) より No.17 を演奏する。
コントラバス	F.Simandl : 30 Etudes より No.2 へ長調を暗譜で演奏する。
マリンバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred 版) 39ETUDES より V, XVIII を演奏する。</li> <li>• 小太鼓基礎奏法 : 1 つ打ち, 2 つ打ち, 5 つ打ち (いずれも加速減速) のなかから試験場で監督者から指定された奏法を演奏する。</li> </ul>

10. 配点一覧表

課程	類・コース (PG: プログラム)	日程	大学入学共通テスト (教科名下の数値は大学入試センターが示す配点) (注1)								東京学芸大学入学試験 (注4)							
			国語	地理 歴史	公民	数学 ①	数学 ②	理科 ①	理科 ②	外国語 (注3)	計	傾斜 配点 教科	学力 検査	小論文	実技 検査	面接	計	摘要
			200	各科目 100	100	100	100	各科目 100 (注2)	200									
学校教育教員養成課程	A類国語	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		400	50	—	—	450			
		後期	400	(100-200)	100	100	(100-200)	200	1,100	国語	—	—	—	450	450			
	A類社会	前期	200	200	100	100	100	200	900		300	30	—	—	330			
		後期	200	200	100	100	100	200	900		—	—	—	300	300			
	A類数学	前期	200	100	100	100	200	200	900		450	50	—	—	500			
		後期	200	100	300	300	200	200	1,300	数学	—	—	—	350	350			
	A類理科	前期	200	100	100	100	200	200	900		*400	40	—	—	440	理科は各科目 200		
		後期	200	100	100	100	200	200	900		—	—	—	400	400			
	A類音楽	前期	200	100	100	—	100	200	700		—	—	*350	35	385	実技は音楽実技 200, 共通試験 150		
		後期	200	100	100	—	100	200	700		—	—	240	25	265			
	A類美術	前期	200	100	100	—	100	200	700		—	—	350	35	385			
	A類保健体育	前期	200	100	100	—	100	200	700		—	—	200	150	350			
	A類家庭	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		—	300	—	—	300			
	A類英語	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		450	—	—	50	500			
	A類現代教育実践	学校教育PG	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		—	300	—	—	300		
			後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		—	—	—	300	300		
		学校心理PG	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		—	—	—	300	300		
			後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		—	—	—	300	300		
	国際教育PG	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		—	—	—	450	450			
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		*300	30	—	—	330	理科の場合は各科目 150		
	環境教育PG	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		—	—	—	400	400			
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		—	—	—	400	400			
	A類ものづくり技術	前期	200	100	150	150	200	200	1,000	数学	—	—	—	400	400			
	A類幼児教育	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		—	—	50	300	350			
	B類国語	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	900		1,200	100	—	—	1,300			
	B類社会	前期	200	200	100	100	100	200	900		300	30	—	—	330			
		後期	200	200	100	100	100	200	900		—	—	—	300	300			
	B類数学	前期	200	100	200	200	200	200	1,100	数学	1,000	100	—	—	1,100			
後期		200	100	300	300	200	200	1,300	数学	—	—	—	350	350				
B類理科	前期	200	100	100	100	200	200	900		*1,000	100	—	—	1,100	理科は各科目 500			
	後期	200	100	100	100	200	200	900		—	—	—	400	400				

課程	類・コース (PG:プログラム)	日程	大学入学共通テスト(教科名下の数値は大学入試センターが示す配点)(注1)								東京学芸大学入学試験(注4)							
			国語	地理 歴史	公民	数学 ①	数学 ②	理科 ①	理科 ②	外国語 (注3)	計	傾斜 配点 教科	学力 検査	小論 文	実技 検査	面接	計	摘要
			200	各科目 100		100	100	各科目 100 (注2)		200								
学校教育教員養成課程	B類音楽	前期	300	(100)	(100)	(100)	—	(100)	300	900	国語 外国語	—	—	*900	90	990	実技は音楽実技 600, 共通試験 300	
		後期	300	(100)	(100)	(100)	—	(100)	300	900	国語 外国語	—	—	*1,350	135	1,485	実技は音楽実技 1,050, 共通試験 300	
	B類美術	前期	200	(100)	(100)	(100)	—	(100)	200	700		—	—	500	200	700		
	B類保健体育	前期	200	100		100	—	100	200	700		—	—	300	150	450		
	B類家庭	前期	200	(100-200)		100	100	(100-200)	200	900		—	300	—	—	300		
	B類技術	前期	200	100		150	150	200	200	1,000	数学	—	—	—	400	400		
	B類英語	前期	200	(100-200)		100	100	(100-200)	300	1,000	外国語	500	—	—	50	550		
	B類書道	前期	200	100		100	—	100	200	700		400	—	600	100	1,100		
	B類情報	前期	200	100		100	100	200	200	900		400	—	—	50	450		
		後期	200	100		200	200	200	200	1,100	数学	—	—	—	300	300		
C類	前期	200	(100-200)		100	100	(100-200)	200	900		—	400	—	40	440			
	後期	200	(100-200)		100	100	(100-200)	200	900		—	200	—	200	400			
D類養護教育	前期	200	100		100	100	200	200	900		—	300	—	100	400			
教育支援課程	E類生涯学習 ・文化遺産教育	前期	200	(100-200)		100	100	(100-200)	200	900		—	500	—	—	500		
		後期	200	(100-200)		100	100	(100-200)	200	900		—	—	—	300	300		
	E類カウンセリング	前期	200	(100-200)		100	100	(100-200)	200	900		—	—	—	300	300		
	E類ソーシャルワーク	前期	200	(100-200)		100	100	(100-200)	200	900		—	500	—	—	500		
	E類多文化共生教育	前期	200	200		100	100	100	500	1,200	外国語	—	500	—	—	500		
		後期	200	200		100	100	100	500	1,200	外国語	—	—	—	500	500		
	E類情報教育	前期	200	100		100	100	200	200	900		500	—	—	50	550		
		後期	200	100		200	200	200	200	1,100	数学	—	—	—	300	300		
E類表現教育	前期	300	(100-200)		100	100	(100-200)	500	1,300	国語 外国語	—	1,300	—	—	1,300			
E類生涯スポーツ	前期	200	100		100	—	100	200	700		—	—	300	200	500			

(注1) 括弧付きの配点は選択教科・科目を示す。「(100-200)」については、1科目選択の場合は100、2科目選択の場合は200とする。

(注2) 理科①については、2科目で1科目相当の成績として取り扱う。

(注3) 外国語において「英語」を受験した場合、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計を、配点比率1対1のまま本表の配点に換算する。ただし、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングの受験が免除されている者については、リーディングの得点を本表の配点に換算する。

(注4) \*を付した配点は複数科目の合計配点を示し、その内訳を摘要欄に記載している。

## V. 学校推薦型選抜

各課程，専攻，コース・プログラムが求める推薦要件を満たし，合格した場合には本学への入学を確約できる志願者を，出身学校長の推薦に基づき，大学入学共通テストを免除し，小論文・実技・面接及び推薦書・調査書等により選抜を行います。

特に，学校教育教員養成課程の各専攻（A・B・C・D類）では，将来教員となる強い意欲を有することを推薦要件とします。

### 1. 募集する課程，専攻（類），コース・プログラムの募集人員及び推薦可能人数

課程	専攻（類）	コース・プログラム	募集人員 （注1）	推薦可能人数 （注2）
学校教育教員養成課程	初等教育専攻（A類）	国語コース	15	1
		美術コース	10	2
		保健体育コース	10	2
		家庭コース	3	2
		英語コース	7	1
		現代教育実践コース （国際教育プログラム）	3	1
		ものづくり技術コース	2	1
		幼児教育コース	4	2
	中等教育専攻（B類）	国語コース	5	1
		美術コース	5	2
		保健体育コース	10	2
		家庭コース	2	2
		技術コース	2	1
		英語コース	7	1
書道コース	4	1		
特別支援教育専攻（C類）		5	2	
養護教育専攻（D類）	養護教育コース	4	2	
教育支援課程	教育支援専攻（E類）	カウンセリングコース	7	2
		ソーシャルワークコース	2	1
		表現教育コース	5	2
		生涯スポーツコース（注3）	7	2
合計			119	(33)

（注1）学校推薦型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は，一般選抜の合格者で補充します。

（注2）「推薦可能人数」は，各専攻，コース・プログラムごとに1校あたりから推薦できる者の数を表す。

（よって，1校からは最大で33人まで推薦できることを意味する。）

（注3）スーパーアスリート推薦選抜において当該コースに推薦可能人数まで推薦を行った学校であっても，別の生徒について出願資格を満たせば，本選抜の当該コースに別途推薦することが可能です。

V. 学校推薦型選抜

2. 出願資格

次の基礎資格及び推薦要件を満たす者で、学校長が優れていると認め、責任をもって推薦できる者。募集する専攻、コース・プログラムごとに1校当たりから推薦できる人数は推薦要件中に示す。

(1) 基礎資格 …… 次に示す①から④のいずれかに平成30年4月から令和6年3月までに該当又は該当する見込みであること。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 特別支援学校の高等部の課程を修了した者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ④ 上記①から③のいずれにも該当しない者で**中等教育専攻（B類）技術コース**を志願する者に限り、高等専門学校の第3学年を修了した者

(2) 推薦要件 …… 志願する類、コース・プログラムの推薦要件をすべて満たすこと。

(注) 令和2年3月までに卒業又は修了した者については、推薦要件中の「学習成績の状況」を「評定平均値」と読み替えるものとする。

課程	類・コース	推 薦 要 件
学校 教育 教員 養成 課程	A 類 国 語 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、国語に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	A 類 美 術 コ ー ス	1. 人物に優れ、美術に深い関心と能力を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3. 美術又は工芸等の科目を履修し、その成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	1. 人物に優れ、保健体育に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 校内、校外の体育活動に積極的に参加した者 4. 「A・B・E類の試験競技一覧」（33ページ参照）に示した競技・種目において、公式戦に選手として出場した者あるいはそれに準ずる実績や能力を有する者 5. 当該競技・種目を継続しようとする意志が強固である者 6. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	A 類 家 庭 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、家庭科に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 生徒会、クラブ活動、ボランティア活動等において特に積極的な参加をした者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	A 類 英 語 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	A類現代教育実践コース (国際教育プログラム)	1. 人物、学力ともに優れ、本プログラムに関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 学校の内外を問わず、国際交流活動に参加した経験・参加の計画等を有する者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	A類ものづくり技術コース	1. 人物、学力ともに優れ、ものづくりへの関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、将来幼稚園教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	B 類 国 語 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、国語に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	B 類 美 術 コ ー ス	1. 人物に優れ、美術に深い関心と能力を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の芸術及び他のいずれか1教科の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 美術又は工芸等の科目を履修し、その成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする

## V. 学校推薦型選抜

課程	類・コース	推 薦 要 件
学校教育教員養成課程	B 類 保健体育コース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人物に優れ、保健体育に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者</li> <li>2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者</li> <li>3. 校内、校外の体育活動に積極的に参加した者</li> <li>4. 「A・B・E 類の試験競技一覧」(33 ページ参照) に示した競技・種目において、公式戦に選手として出場した者あるいはそれに準ずる実績や能力を有する者</li> <li>5. 当該競技・種目を継続しようとする意志が強固である者</li> <li>6. 推薦できる者の数は、1 校当たり 2 名以内とする</li> </ol>
	B 類 家庭コース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人物、学力ともに優れ、家庭科に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者</li> <li>2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者</li> <li>3. 生徒会、クラブ活動、ボランティア活動等において特に積極的な参加をした者</li> <li>4. 推薦できる者の数は、1 校当たり 2 名以内とする</li> </ol>
	B 類 技術コース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人物に優れ、学習意欲旺盛で、将来中学校(技術科)又は高等学校(工業科)の教員となる強い意欲を有する者</li> <li>2. 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者</li> <li>3. 推薦できる者の数は、1 校当たり 1 名とする</li> </ol>
	B 類 英語コース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人物、学力ともに優れ、将来教員となる強い意欲を有する者</li> <li>2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4.3 以上の者</li> <li>3. 推薦できる者の数は、1 校当たり 1 名とする</li> </ol>
	B 類 書道コース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人物、学力ともに優れ、将来教員となる強い意欲を有する者</li> <li>2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者</li> <li>3. 推薦できる者の数は、1 校当たり 1 名とする</li> </ol>
	C 類	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人物、学力ともに優れ、特別支援教育への関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者</li> <li>2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者</li> <li>3. 推薦できる者の数は、1 校当たり 2 名以内とする</li> </ol>
	D 類 養護教育コース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人物、学力ともに優れ、子どもの健康への関心が高く、将来養護教員となる強い意欲を有する者</li> <li>2. 調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上の者</li> <li>3. 推薦できる者の数は、1 校当たり 2 名以内とする</li> </ol>
教育支援課程	E 類 カウンセリングコース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人物、学力ともに優れ、本コースに関心のある者</li> <li>2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者</li> <li>3. 推薦できる者の数は、1 校当たり 2 名以内とする</li> </ol>
	E 類 ソーシャルワークコース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人物、学力ともに優れ、社会福祉の理論と実践に強い関心のある者</li> <li>2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者</li> <li>3. 推薦できる者の数は、1 校当たり 1 名とする</li> </ol>
	E 類 表現教育コース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人物、学力ともに優れ、本コースに関心のある者</li> <li>2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者</li> <li>3. 推薦できる者の数は、1 校当たり 2 名以内とする</li> </ol>
	E 類 生涯スポーツコース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人物に優れ、将来下記 3. に該当する競技・種目の指導者を希望する者</li> <li>2. 調査書の全体の学習成績の状況が 3.0 以上の者</li> <li>3. 「A・B・E 類の試験競技一覧」(33 ページ参照) に示した競技・種目において、全国大会(全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、国民体育大会等)レベル以上の競技会に選手として出場した者あるいはそれに準ずる実績や能力を有する者</li> <li>4. 当該競技・種目を継続しようとする意志が強固である者</li> <li>5. 推薦できる者の数は、1 校当たり 2 名以内とする</li> </ol>

### 3. 出願期間

令和 5 年 11 月 1 日(水) から同年 11 月 6 日(月) まで〔書留速達郵便・期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、11 月 4 日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

### 4. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。東京学芸大学入学試験の成績では学力の 3 要素の全て及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。出願書類では主に学力の 3 要素のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。

なお、東京学芸大学入学試験の各科目得点のうち、1 科目でも本学の定めた基準点(令和 6 年 5 月頃に公表予定)に達していない場合は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。また、本学が指定した東京学芸大学入学試験の教科・科目等を 1 つでも受験しなかった場合は、選抜の対象から除外します。

V. 学校推薦型選抜

5. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点

(1) 試験期日 …… 令和5年11月25日(土)

(2) 出題教科・科目等及び配点(出題教科・科目等は全て必須、300点満点)

課程	類・コース	出題教科・科目等	配点	摘要
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	小 論 文	120	
		面 接	180	口頭試問を含む。
	A 類 美 術 コ ー ス	小 論 文	100	
		図工・美術実技	100	
		面 接	100	
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	体 育 実 技	100	
		小 論 文	100	
	A 類 家 庭 コ ー ス	面 接	100	
		小 論 文	200	
	A 類 英 語 コ ー ス	面 接	100	
		小 論 文	200	英語によるものを含む。 英語によるものを含む。
	A 類 現 代 教 育 実 践 コ ー ス (国際教育プログラム)	面 接	200	
		小 論 文	100	
	A 類 も の づ く り 技 術 コ ー ス	面 接	150	
		小 論 文	150	作品やそれを提示するための資料等の持ち込み不可。面接は口頭試問を含む。
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	面 接	150	
		小 論 文	100	
		音楽素質検査(実技)	50	
B 類 国 語 コ ー ス	面 接	180		
	小 論 文	120	口頭試問を含む。	
B 類 美 術 コ ー ス	面 接	100		
	美 術 実 技	100		
	面 接	100		
B 類 保 健 体 育 コ ー ス	面 接	100		
	小 論 文	100		
B 類 家 庭 コ ー ス	面 接	100		
	小 論 文	200		
B 類 技 術 コ ー ス	面 接	150		
	小 論 文	150	作品やそれを提示するための資料等の持ち込み不可。面接は口頭試問を含む。	
B 類 英 語 コ ー ス	面 接	100		
	小 論 文	200	英語によるものを含む。 英語によるものを含む。	
B 類 書 道 コ ー ス	面 接	100		
	書道実技・書道理論	100		
	面 接	100		
C 類	面 接	150		
	小 論 文	150		
D 類 養 護 教 育 コ ー ス	面 接	150		
	小 論 文	150		
教育支援課程	E 類 カウンセリングコース	面 接	200	
		小 論 文	100	
	E 類 ソーシャルワークコース	面 接	100	
		小 論 文	200	
E 類 表 現 教 育 コ ー ス	面 接	200		
	小 論 文	100		
E 類 生 涯 ス ポ ー ツ コ ー ス	面 接	100		
	体 育 実 技	100		
	小 論 文	100		



**6. 小論文の概要**

(1) **A・B類国語コース**

国語教育や日本語教育に関する課題とともにアドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(2) **A・B類美術コース**

図画工作・美術科に関わる課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(3) **A・B類保健体育コース**

保健体育や生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・基礎的な学力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(4) **A・B類家庭コース**

生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(5) **A・B類英語コース**

言語・社会・文化・教育などの諸相に関する課題を提示して、論述させる（英語によるものを含む）。理解力・分析力・論理構成力・表現力等をみる。知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(6) **A類現代教育実践コース（国際教育プログラム）**

国際教育に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(7) **A類ものづくり技術・B類技術コース**

ものづくり・技術・科学・それらに関連する教育についての課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(8) **A類幼児教育コース**

幼児教育に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(9) **B類書道コース**

書写・書道教育に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(10) **C類**

教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、論理構成力、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

## V. 学校推薦型選抜

### (11) D類養護教育コース

社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

### (12) E類カウンセリングコース

学校内外の諸問題について論述させ、論理的構成力・表現力などを総合的に評価する。

### (13) E類ソーシャルワークコース

社会福祉に関する課題等を提示して、論述させ、知識、思考力、表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

### (14) E類表現教育コース

芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

### (15) E類生涯スポーツコース

保健体育や生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・基礎的な学力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

V. 学校推薦型選抜

7. 実技試験等の内容

(1) 図工・美術実技の内容（A類美術コース対象）

鉛筆による静物デッサン（2時間）

(2) 美術実技の内容（B類美術コース対象）

石膏デッサン（2時間）  
〔鉛筆又は木炭，併用も可〕

(3) 体育実技の内容（A・B類保健体育コース，E類生涯スポーツコース対象）

A・B・E類の試験競技一覧（1競技を選択すること。）
陸上競技 <sup>(※1)</sup> ，競泳 <sup>(※2)</sup> ，バレーボール（男子），サッカー（男子），ソフトボール（女子），剣道，柔道，ラグビー，体操競技（男子6種目，女子4種目）

（※1）陸上競技は，次の「陸上競技種目一覧」から1種目を選択すること。

陸上競技種目一覧
100m 走，400m 走，800m 走，1500m 走，1500m 競歩，走り幅跳び，走り高跳び，三段跳び，棒高跳び，砲丸投げ，円盤投げ，やり投げ，男子 55m ハードル走（110m ハードル走に準じる），女子 50m ハードル走（100m ハードル走に準じる）

（※2）競泳の推薦要件として認められる種目は個人メドレー，自由形，平泳ぎ，背泳ぎ，バタフライのいずれか（距離は問わない）。なお，水球やOWS等は認めない。

(4) 音楽素質検査の内容（A類幼児教育コース対象）

科目	項目	内容
音楽素質検査 (2項目とも必須)	声乐	次の3曲のうちから任意の1曲を選択し歌う。選択曲は当日申告する。 (暗譜でなくともよい。試験官の伴奏による。) ① 赤とんぼ(変ホ長調) …… 三木露風 詞，山田耕筰 曲 ② 花(ト長調) …………… 武島羽衣 詞，滝廉太郎 曲 ③ 椰子の実(ト長調) …… 島崎藤村 詞，大中寅二 曲
	ピアノ	平易な任意のピアノ独奏用楽曲1曲を弾く。曲は当日申告する。 (暗譜でなくともよい。ペダルの使用は自由。ピアノ独奏用楽曲とは，例えば「ブルグミュラー 25の練習曲」や「ソナチネ アルバム」のようなピアノ独奏用に作られた楽曲のことを指す。)

(5) 書道実技・書道理論の内容（B類書道コース対象）

科目	項目	内容	
書道実技・ 書道理論 (2項目とも必須)	書道実技	漢字の書	臨書 用紙 …… 半紙 (33.5cm×24.5cm)
		仮名の書	臨書 用紙 …… 半紙 (同)
		漢字仮名交じりの書	創作 ㊦ 題材 …… 短歌，俳句など ㊧ 用紙 …… 小画仙紙全紙 1/3 (45cm×70cm)
	書道理論	日本・中国書道史，書道理論（例：書道用語）等	

(注) 実技試験に際しては次のものを準備すること。

大筆（小画仙紙半折用も含む），小筆，硯，墨（固形墨を磨墨して持参するか，市販の液体墨でもよい），文鎮，下敷き（小画仙紙全紙 1/3 に対応する大きさのもの及び半紙用。ただし，罫線や枠が入ったものは不可）。

## VI. スーパーアスリート推薦選抜

推薦要件を満たし、合格した場合には本学への入学を確約できる志願者を、出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テストを免除し、小論文・面接及び推薦書・調査書等により選抜を行います。

### 1. 募集する課程、専攻（類）、コースの募集人員及び推薦可能人数

教育支援課程 教育支援専攻（E類）生涯スポーツコース …… 10名

推薦可能人数 …… 1校当たり2名

（注1）学校推薦型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

（注2）学校推薦型選抜において当該コースに推薦可能人数まで推薦を行った学校であっても、別の生徒について出願資格を満たせば、本選抜の当該コースに別途推薦することが可能です。

### 2. 出願資格

次の専門競技に該当し、かつ基礎資格及び推薦要件を満たす者で、学校長が優れていると認め、責任をもって推薦できる者。

- (1) **専門競技** …… 受験できる専門競技は、以下に示す4競技のいずれかとします。
  - a) 個人競技 …… 陸上競技，剣道，女子柔道
  - b) チーム競技 …… 男子バレーボール
- (2) **基礎資格** …… 次に示す①から③のいずれかに平成30年4月から令和6年3月までに該当又は該当する見込みであること。
  - ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
  - ② 特別支援学校の高等部の課程を修了した者
  - ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (3) **推薦要件** …… 下記1.～3.をすべて満たすこと。

1. a) 個人競技を専門とする者については、令和3年4月以降において、日本代表選手、ナショナルレベルの強化指定選手又は全国大会ベスト8以上の者、もしくはそれに準ずる実績や能力を有する者
- b) チーム競技を専門とする者については、令和3年4月以降において、日本代表選手、ナショナルレベルの強化指定選手又は全国大会ベスト16以上の者、もしくはそれに準ずる実績や能力を有する者
2. 調査書の全体の学習成績の状況（令和2年3月までに卒業又は修了した者については、評定平均値）が3.0以上の者
3. 当該種目を継続しようとする意志が強固である者

### 3. 出願期間

令和5年11月1日（水）から同年11月6日（月）まで〔書留速達郵便・期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、11月4日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

**4. 選抜方法**

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素の全て及び「教育支援人材への意欲・適性」を評価します。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「教育支援人材への意欲・適性」を評価します。

なお、東京学芸大学入学試験の各科目得点のうち、1科目でも本学の定めた基準点（令和6年5月頃に公表予定）に達していない場合は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。また、本学が指定した東京学芸大学入学試験の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は、選抜の対象から除外します。

**5. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点**

(1) 試験期日 …… 令和5年11月25日（土）

(2) 出題教科・科目等及び配点（出題教科・科目等は全て必須、300点満点）

課程	類・コース	出題教科・科目等	配点	摘要
教育支援課程	E類生涯スポーツコース	小論文	150	
		面接	150	

**6. 小論文の概要**

生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・基礎的な学力等を総合的に評価する。

## VII. 帰国生選抜

### 1. 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外在留という事情により外国の学校教育を受けた者（保護者との同伴期間は1年以上とし、その後の単身滞在期間は2年以内の者）のうち、次の(1)から(5)のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育における12年の課程のうち、外国において最終を含む2年以上をその国の教育制度に基づく高等学校に継続して在籍し、2022年4月1日から2024年3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者、もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) 2022年4月1日から2024年3月31日までに日本の高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、日本の教育制度の中学校及び高等学校もしくは中等教育学校に相当する期間のうち、外国においてその国の教育制度に基づく中学校から高等学校までの課程に通算3年以上在籍した者。ただし、日本の高等学校又は中等教育学校後期課程の在籍期間は2年以内の者
- (3) 外国において、2022年4月1日から2024年3月31日までに次の資格のいずれかを取得した者
  - ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
  - ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
  - ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
  - ④ 英国において大学入学資格として認められているGCEAレベル資格
- (4) 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, NEASC, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程に、最終を含む2年以上継続して在籍し、2022年4月1日から2024年3月31日までに当該課程を修了又は修了見込みの者
- (5) 2022年4月1日から2024年3月31日までに日本の高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、日本の教育制度の中学校及び高等学校もしくは中等教育学校に相当する期間のうち、外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, NEASC, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に通算3年以上在籍した者。ただし、日本の高等学校又は中等教育学校後期課程の在籍期間は2年以内の者

(注1) 上記(1)及び(2)については、地理的に外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けた期間に通算しません。

(注2) 出願資格に疑問がある場合は、12月1日までに入試課に照会すること。照会方法の詳細は本学「学部入試情報サイト」内に掲載します。また、出願資格を確認する目的で大使館等に学歴に関する情報を提供することがあります。

#### 本学が求める英語力について

本学では、深い教養と基礎的技能を獲得することを目的とする教養科目を設けています。その中の語学領域で必修科目として開講している「英語コミュニケーション」（1年次Ⅰ・Ⅱ期開設）は、高等学校で英語を履修したことを前提として授業を行っています。

高等学校等で英語を履修していない場合、「英語コミュニケーション」を受講するまでに、少なくとも日本の中学校3年間の英語教科書にある内容を学習しておく必要があります。

なお、本学では申請により、TOEFL等のスコアに基づき「英語コミュニケーション」の単位を認定する制度を設けています。

### 2. 出願期間

令和5(2023)年12月19日(火)から同年12月21日(木)まで〔書留速達郵便・期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、12月20日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

Ⅶ. 帰国生選抜

3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。

なお、東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素の全て及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。

4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等

(1) 試験期日 …… 令和6(2024)年2月25日(日)・2月26日(月)

(2) 試験日及び実施方法

課程	類・コース (PG:プログラム)	試験日	実施方法(注1)				概要	
			学力検査	小論文	実技検査	面接 (注2)		
学校教育 教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	A 類 社 会 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎		
	A 類 数 学 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	A 類 理 科 コ ー ス	2月25日(日)	◎2	◎	—	◎		
	A 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	◎	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。	
	A 類 美 術 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	◎	◎		
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	—	◎	◎	面接の日程は別途通知する。	
	A 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎		
	A 類 英 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	A 類 現 代 教 育 実践コース	学校教育PG	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
		学校心理PG	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
		国際教育PG	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
		環境教育PG	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	A 類 も の づ く り 技 術 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎	(注3)	
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	◎	◎		
	B 類 国 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	B 類 社 会 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎		
	B 類 数 学 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	B 類 理 科 コ ー ス	2月25日(日)	◎2	◎	—	◎		
	B 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	◎	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。	
	B 類 美 術 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	◎	◎		
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	—	◎	◎	面接の日程は別途通知する。	
	B 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎		
	B 類 技 術 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎	(注3)	
	B 類 英 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	B 類 書 道 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	◎	—	◎	◎	面接の日程は別途通知する。	
	B 類 情 報 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
C 類	2月25日(日)	—	◎	—	◎			
D 類 養 護 教 育 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎			

(次ページへ続く)

## VII. 帰国生選抜

課程	類・コース	試験日	実施方法（注1）				摘要
			学力検査	小論文	実技検査	面接（注2）	
教育支援課程	E類生涯学習・文化遺産教育コース	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	E類カウンセリングコース	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	E類ソーシャルワークコース	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	E類多文化共生教育コース	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	E類情報教育コース	2月25日(日)	◎	◎	—	◎	
	E類表現教育コース	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	E類生涯スポーツコース	2月25日(日) 2月26日(月)	— —	— ◎	◎ —	◎ ◎	面接の日程は別途通知する。

(注1) ◎印は受験が必須であることを、—印は受験を要しないことを表す。◎印に付された数字は課す科目数を示す（記載のないものは1教科又は1科目を課すことを示す）。

(注2) 志願者全員に日本語による個人面接を課す。ただし、A・B類英語コースは英語による面接を含む。

(注3) 面接には口頭試問を含む。また、作品やそれを提示するための資料等の持ち込みを不可とする。

### (3) 学力検査の詳細

対象の類・コース	学力検査の教科・科目等		必須又は必要科目数	摘要	試験時間（予定）
	出題教科	出題科目（範囲）			
A類国語コース B類国語コース B類書道コース	国語	国語総合 現代文A 現代文B 古典A 古典B	必須		120分
A類数学コース B類数学コース B類情報コース E類情報教育コース	数学	数学I 数学II 数学III 数学A 数学B	必須	数学Aは場合の数と確率、整数の性質、図形の性質。数学Bは数列、ベクトル。	120分
A類理科コース B類理科コース	理科	(a) 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 ----- (b) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学	} 1 } 計2 } 1	(a)・(b)各欄から1科目ずつの計2科目を選択する。ただし、(a)-(b)間において同一名称を含む科目の選択は不可。（例えば「物理基礎」と「物理基礎・物理」の組み合わせは不可。）	120分 (2科目計)
A類英語コース B類英語コース	外国語（英語）	コミュニケーション英語I コミュニケーション英語II コミュニケーション英語III 英語表現I 英語表現II (ディクテーションを含む)	必須	試験時間のうち、筆記試験が90分、ディクテーションが約10分	約120分

## 5. 小論文の概要

### (1) A・B類国語コース

国語に関する課題を提示し、理解力・表現力等を評価する。

### (2) A・B類社会コース

社会現象に関する課題等を提示し、それについて論述させる。読解力・論理的思考力・構成力・表現力等、基礎的な能力を総合的に評価する。

### (3) A・B類数学コース

数学に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。



## Ⅶ. 帰国生選抜

### (4) A・B類理科コース

アドミッション・ポリシーを踏まえた理科に関する課題を提示して、論述させ、理解力・論理性・表現力等を評価するとともに、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

### (5) A・B類音楽コース

音楽と音楽教育に関する課題を提示して論述させ、理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価する。

### (6) A・B類美術コース

美術文化とのかかわりに関する課題を提示して論述させ、思考力・洞察力・表現力等を評価する。

### (7) A・B類保健体育コース

保健体育に関する課題を提示して論述させ、洞察力、論理的な思考力、日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

### (8) A・B類家庭コース

生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

### (9) A・B類英語コース

言語・社会・文化・教育などの諸相に関する課題を提示して、論述させ、理解力・分析力・論理構成力・表現力等をみる。知識・技能、思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

### (10) A類現代教育実践コース学校教育プログラム

学校内外の教育に関する諸問題について、その理解力・分析力・表現力等を総合的に評価する。

### (11) A類現代教育実践コース学校心理プログラム

学校内外の諸問題について論述させ、教師への意欲・適性及び論理構成力・表現力等を総合的に評価する。

### (12) A類現代教育実践コース国際教育プログラム

国際教育に関する諸問題について、その理解力・論理構成力・発想力等をみる。

### (13) A類現代教育実践コース環境教育プログラム

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、課題に対する理解力・分析力を総合的に評価するとともに、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

### (14) A類ものづくり技術・B類技術コース

ものづくり・技術・科学・それらに関連する教育についての課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を評価する。

### (15) A類幼児教育コース

幼児の発達や教育に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・文章構成力・表現力等を評価する。

### (16) B類書道コース

書写・書道教育に関する理論や実践等についての基礎的事項の理解力・思考力及び書字力を評価する。

### (17) B類情報コース

論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。

## Ⅶ. 帰国生選抜

### (18) C類

教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、論理構成力、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

### (19) D類養護教育コース

社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

### (20) E類生涯学習・文化遺産教育コース

生涯学習・文化遺産教育に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理構成力・表現力等を総合的に評価する。

### (21) E類カウンセリングコース

学校内外の諸問題について論述させ、論理構成力・表現力などを総合的に評価する。

### (22) E類ソーシャルワークコース

社会福祉に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。

### (23) E類多文化共生教育コース

異文化理解や多文化共生に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。

### (24) E類情報教育コース

論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。

### (25) E類表現教育コース

芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解力・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

### (26) E類生涯スポーツコース

生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

## 6. 実技試験等の内容

実技試験を課す類・コース及び試験科目名称は以下のとおりです。選択問題、選択競技・種目、選択課題及び選択する管弦打楽器は希望するものを出願時に登録すること。出願後及び試験場での変更は認めません。

対象の類・コース	科目名称	備考	試験の内容
A類美術コース	図工・美術実技	選択問題。	一般選抜の内容と同じ。 → 19 ページを参照してください。
B類美術コース	美術実技	選択問題。	
A類保健体育コース B類保健体育コース E類生涯スポーツコース	体育実技	試験競技・種目を選択。	一般選抜の内容と同じ。 → 20 ページを参照してください。
A類幼児教育コース	音楽素質検査	必須。	
B類書道コース	書道実技・書道理論	必須。	一般選抜前期日程の内容と同じ。 → 21 ページを参照してください。
A類音楽コース	共通試験	必須。	
B類音楽コース	音楽実技	実技課題を選択。	

Ⅶ. 帰国生選抜

7. 配点一覧表

課程	類・コース (PG:プログラム)	配点(注)				
		学力検査	小論文	実技検査	面接	
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	100	100	—	100	
	A 類 社 会 コ ー ス	—	200	—	100	
	A 類 数 学 コ ー ス	100	100	—	100	
	A 類 理 科 コ ー ス	*200	100	—	100	
	A 類 音 楽 コ ー ス	—	100	*300	100	
	A 類 美 術 コ ー ス	—	100	100	100	
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	—	100	100	100	
	A 類 家 庭 コ ー ス	—	200	—	100	
	A 類 英 語 コ ー ス	100	100	—	100	
	A 類現代教育実践コース	学校教育PG	—	200	—	100
		学校心理PG	—	200	—	100
		国際教育PG	—	200	—	100
		環境教育PG	—	200	—	100
	A 類 も の づ く り 技 術 コ ー ス	—	200	—	100	
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	—	100	50	150	
	B 類 国 語 コ ー ス	100	100	—	100	
	B 類 社 会 コ ー ス	—	200	—	100	
	B 類 数 学 コ ー ス	100	100	—	100	
	B 類 理 科 コ ー ス	*200	100	—	100	
	B 類 音 楽 コ ー ス	—	100	*300	100	
	B 類 美 術 コ ー ス	—	100	200	100	
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	—	100	100	100	
	B 類 家 庭 コ ー ス	—	200	—	100	
	B 類 技 術 コ ー ス	—	200	—	100	
	B 類 英 語 コ ー ス	100	100	—	100	
	B 類 書 道 コ ー ス	100	100	100	100	
B 類 情 報 コ ー ス	100	100	—	100		
C 類		—	200	—	100	
D 類 養 護 教 育 コ ー ス	—	200	—	100		
教育支援課程	E 類生涯学習・文化遺産教育コース	—	200	—	100	
	E 類カウンセリングコース	—	200	—	100	
	E 類ソーシャルワークコース	—	200	—	100	
	E 類多文化共生教育コース	—	200	—	100	
	E 類情報教育コース	100	100	—	100	
	E 類表現教育コース	—	200	—	100	
	E 類生涯スポーツコース	—	100	100	100	

(注) \*印は、複数科目の合計配点を示す。

## Ⅷ. 私費外国人留学生選抜

### 1. 出願資格

外国の国籍を有する者（日本国の永住許可を得ている者は除く）で、かつ、次の(1)及び(2)の要件を満たす者

(1) 次の①から③のいずれかに該当する者

- ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ② 外国において、2024年3月31日までに次の資格のいずれかを取得した者
  - ㊦ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
  - ㊧ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
  - ㊨ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
  - ㊩ 英国において大学入学資格として認められているGCEAレベル資格
- ③ 外国において、2024年3月31日までに文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC, ACSI, NEASC, CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了又は修了見込みの者

(2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2022年度又は2023年度の「日本留学試験(EJU)」を受験し、1回の受験で次の①及び②の基準を満たす者

- ① 日本語の成績（「読解」、「聴解・聴読解」）が200点以上
- ② 「理科及び数学の成績の合計」又は「総合科目及び数学の成績の合計」が200点以上

1. 日本留学試験で受験を要する科目等
  - ① 日本語
  - ② 理科又は総合科目のどちらか（理科は物理・化学・生物から2科目を受験すること。）
  - ③ 数学（コース1・コース2のどちらかを受験すること。）
2. 「日本語」以外の科目については、出題言語を問わない（日本語・英語のどちらでもよい）。
3. 2022年度及び2023年度に実施される計4回の試験のいずれか1回の成績のみを利用する（複数の受験回の成績を組み合わせることはしない）ので、利用対象となる試験を複数回受験した場合は、志願者本人が利用してほしい1つの受験回を選択のうえ出願すること。
4. 日本留学試験の詳細等はウェブサイトを参照すること。《<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/index.html>》

(注1) 「外国において、学校教育における12年の課程を修了」とは、地理的に外国に設置された学校において、原則として当該国における正規の教育制度に位置付けられている教育課程の12年目を修了することを言います。

(注2) 出願資格に疑問がある場合は、12月1日までに入試課に照会すること。照会方法の詳細は本学「学部入試情報サイト」内に掲載します。また、出願資格を確認する目的で大使館等に学歴に関する情報を提供することがあります。

#### 本学が求める英語力について

本学では、深い教養と基礎的技能を獲得することを目的とする教養科目を設けています。その中の語学領域で必修科目として開講している「英語コミュニケーション」（1年次Ⅰ・Ⅱ期開設）は、高等学校で英語を履修したことを前提として授業を行っています。

高等学校等で英語を履修していない場合、「英語コミュニケーション」を受講するまでに、少なくとも日本の中学校3年間の英語教科書にある内容を学習しておく必要があります。

なお、本学では申請により、TOEFL等のスコアに基づき「英語コミュニケーション」の単位を認定する制度を設けています。

### 2. 出願期間

令和5(2023)年12月19日(火)から同年12月21日(木)まで〔書留速達郵便・期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、12月20日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

Ⅷ. 私費外国人留学生選抜

3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。

なお、東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素の全て及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。

4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等

(1) 試験期日 …… 令和6(2024)年2月25日(日)・2月26日(月)

(2) 試験日及び実施方法

課程	類・コース (PG:プログラム)	試験日	実施方法(注1)				概要	
			学力検査	小論文	実技検査	面接 (注2)		
学校教育 教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	A 類 社 会 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎		
	A 類 数 学 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	A 類 理 科 コ ー ス	2月25日(日)	◎2	◎	—	◎		
	A 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	◎	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。	
	A 類 美 術 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	◎	◎		
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	—	◎	◎	面接の日程は別途通知する。	
	A 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎		
	A 類 英 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	A 類 現 代 教 育 実践コース	学校教育PG	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
		学校心理PG	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
		国際教育PG	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
		環境教育PG	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	A 類 も の づ く り 技 術 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎	(注3)	
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	◎	◎		
	B 類 国 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	B 類 社 会 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎		
	B 類 数 学 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	B 類 理 科 コ ー ス	2月25日(日)	◎2	◎	—	◎		
	B 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	◎	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。	
	B 類 美 術 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	◎	◎		
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(日) 2月26日(月)	—	—	◎	◎	面接の日程は別途通知する。	
	B 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎		
	B 類 技 術 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎	(注3)	
	B 類 英 語 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	B 類 書 道 コ ー ス	2月25日(日)	◎	—	◎	◎		
	B 類 情 報 コ ー ス	2月25日(日)	◎	◎	—	◎		
	C 類	2月25日(日)	—	◎	—	◎		
D 類 養 護 教 育 コ ー ス	2月25日(日)	—	◎	—	◎			

(次ページへ続く)

Ⅷ. 私費外国人留学生選抜

課程	類・コース	試験日	実施方法（注1）				摘要
			学力検査	小論文	実技検査	面接（注2）	
教育支援課程	E類生涯学習・文化遺産教育コース	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	E類カウンセリングコース	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	E類ソーシャルワークコース	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	E類多文化共生教育コース	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	E類情報教育コース	2月25日(日)	◎	◎	—	◎	
	E類表現教育コース	2月25日(日)	—	◎	—	◎	
	E類生涯スポーツコース	2月25日(日) 2月26日(月)	— —	— ◎	◎ —	◎ ◎	面接の日程は別途通知する。

(注1) ◎印は受験が必須であることを、—印は受験を要しないことを表す。◎印に付された数字は課す科目数を示す（記載のないものは1教科又は1科目を課すことを示す）。

(注2) 志願者全員に日本語による個人面接を課す。ただし、A・B類英語コースは英語による面接を含む。

(注3) 面接には口頭試問を含む。また、作品やそれを提示するための資料等の持ち込みを不可とする。

(3) 学力検査の詳細

対象の類・コース	学力検査の教科・科目等		必須又は必要科目数	摘要	試験時間（予定）
	出題教科	出題科目（範囲）			
A類国語コース B類国語コース B類書道コース	国語	国語総合 現代文A 現代文B 古典A 古典B	必須		120分
A類数学コース B類数学コース B類情報コース E類情報教育コース	数学	数学I 数学II 数学III 数学A 数学B	必須	数学Aは場合の数と確率，整数の性質，図形の性質。数学Bは数列，ベクトル。	120分
A類理科コース B類理科コース	理科	(a) 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 ----- (b) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学	1 計2 1	(a)・(b)各欄から1科目ずつの計2科目を選択する。ただし、(a)-(b)間において同一名称を含む科目の選択は不可。（例えば「物理基礎」と「物理基礎・物理」の組み合わせは不可。）	120分 (2科目計)
A類英語コース B類英語コース	外国語（英語）	コミュニケーション英語I コミュニケーション英語II コミュニケーション英語III 英語表現I 英語表現II (ディクテーションを含む)	必須	試験時間のうち、筆記試験が90分、ディクテーションが約10分	約120分

5. 小論文の概要

(1) A・B類国語コース

国語に関する課題を提示し、理解力・表現力等を評価する。

(2) A・B類社会コース

社会現象に関する課題等を提示し、それについて論述させる。読解力・論理的思考力・構成力・表現力等、基礎的な能力を総合的に評価する。

(3) A・B類数学コース

数学に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

## Ⅷ. 私費外国人留学生選抜

### (4) A・B類理科コース

アドミッション・ポリシーを踏まえた理科に関する課題を提示して、論述させ、理解力・論理性・表現力等を評価するとともに、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

### (5) A・B類音楽コース

音楽と音楽教育に関する課題を提示して論述させ、理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価する。

### (6) A・B類美術コース

美術文化とのかかわりに関する課題を提示して論述させ、思考力・洞察力・表現力等を評価する。

### (7) A・B類保健体育コース

保健体育に関する課題を提示して論述させ、洞察力、論理的な思考力、日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

### (8) A・B類家庭コース

生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

### (9) A・B類英語コース

言語・社会・文化・教育などの諸相に関する課題を提示して、論述させ、理解力・分析力・論理構成力・表現力等をみる。知識・技能、思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

### (10) A類現代教育実践コース学校教育プログラム

学校内外の教育に関する諸問題について、その理解力・分析力・表現力等を総合的に評価する。

### (11) A類現代教育実践コース学校心理プログラム

学校内外の諸問題について論述させ、教師への意欲・適性及び論理構成力・表現力等を総合的に評価する。

### (12) A類現代教育実践コース国際教育プログラム

国際教育に関する諸問題について、その理解力・論理構成力・発想力等をみる。

### (13) A類現代教育実践コース環境教育プログラム

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、課題に対する理解力・分析力を総合的に評価するとともに、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

### (14) A類ものづくり技術・B類技術コース

ものづくり・技術・科学・それらに関連する教育についての課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を評価する。

### (15) A類幼児教育コース

幼児の発達や教育に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・文章構成力・表現力等を評価する。

### (16) B類情報コース

論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。

### (17) C類

教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、論理構成力、知識・技能、思考力・判断力・表現力

## Ⅷ. 私費外国人留学生選抜

等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

### (18) D類養護教育コース

社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

### (19) E類生涯学習・文化遺産教育コース

生涯学習・文化遺産教育に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理構成力・表現力等を総合的に評価する。

### (20) E類カウンセリングコース

学校内外の諸問題について論述させ、論理構成力・表現力などを総合的に評価する。

### (21) E類ソーシャルワークコース

社会福祉に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。

### (22) E類多文化共生教育コース

異文化理解や多文化共生に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。

### (23) E類情報教育コース

論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。

### (24) E類表現教育コース

芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解力・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

### (25) E類生涯スポーツコース

生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

## 6. 実技試験等の内容

実技試験を課す類・コース及び試験科目名称は以下のとおりです。選択問題、選択競技・種目、選択課題及び選択する管弦打楽器は希望するものを出願時に登録すること。出願後及び試験場での変更は認めません。

対象の類・コース	科目名称	備考	試験の内容
A類美術コース	図工・美術実技	選択問題。	一般選抜の内容と同じ。 → 19 ページを参照してください。
B類美術コース	美術実技	選択問題。	
A類保健体育コース B類保健体育コース E類生涯スポーツコース	体育実技	試験競技・種目を選択。	一般選抜の内容と同じ。 → 20 ページを参照してください。
A類幼児教育コース	音楽素質検査	必須。	
B類書道コース	書道実技・書道理論	必須。	一般選抜前期日程の内容と同じ。 → 21 ページを参照してください。
A類音楽コース	共通試験	必須。	
B類音楽コース	音楽実技	実技課題を選択。	



Ⅷ. 私費外国人留学生選抜

7. 配点一覧表

課程	類・コース (PG:プログラム)	配点(注)				
		学力検査	小論文	実技検査	面接	
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	100	100	—	100	
	A 類 社 会 コ ー ス	—	200	—	100	
	A 類 数 学 コ ー ス	100	100	—	100	
	A 類 理 科 コ ー ス	*200	100	—	100	
	A 類 音 楽 コ ー ス	—	100	*300	100	
	A 類 美 術 コ ー ス	—	100	100	100	
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	—	100	100	100	
	A 類 家 庭 コ ー ス	—	200	—	100	
	A 類 英 語 コ ー ス	100	100	—	100	
	A 類現代教育実践コース	学校教育PG	—	200	—	100
		学校心理PG	—	200	—	100
		国際教育PG	—	200	—	100
		環境教育PG	—	200	—	100
	A 類 も の づ く り 技 術 コ ー ス	—	200	—	100	
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	—	100	50	150	
	B 類 国 語 コ ー ス	100	100	—	100	
	B 類 社 会 コ ー ス	—	200	—	100	
	B 類 数 学 コ ー ス	100	100	—	100	
	B 類 理 科 コ ー ス	*200	100	—	100	
	B 類 音 楽 コ ー ス	—	100	*300	100	
	B 類 美 術 コ ー ス	—	100	200	100	
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	—	100	100	100	
	B 類 家 庭 コ ー ス	—	200	—	100	
	B 類 技 術 コ ー ス	—	200	—	100	
	B 類 英 語 コ ー ス	100	100	—	100	
	B 類 書 道 コ ー ス	100	—	100	100	
	B 類 情 報 コ ー ス	100	100	—	100	
C 類	—	200	—	100		
D 類 養 護 教 育 コ ー ス	—	200	—	100		
教育支援課程	E 類生涯学習・文化遺産教育コース	—	200	—	100	
	E 類カウンセリングコース	—	200	—	100	
	E 類ソーシャルワークコース	—	200	—	100	
	E 類多文化共生教育コース	—	200	—	100	
	E 類情報教育コース	100	100	—	100	
	E 類表現教育コース	—	200	—	100	
	E 類生涯スポーツコース	—	100	100	100	

(注) \*印は、複数科目の合計配点を示す。

## Ⅸ. 国際バカロレア選抜

国際バカロレアのプログラムは、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探求心、知識、思いやりに富んだ人材の育成を目的としています。東京学芸大学では、この国際バカロレア資格を取得した者は、次世代を支える人材養成を行う教師又は教育支援人材として卓越した適性を有すると考え、国際バカロレア資格を取得した者を対象とする選抜を行います。

### 1. 出願資格

次の(1)及び(2)の要件を満たす者

- (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (International Baccalaureate Diploma) を取得した者又は令和6(2024)年3月31日までに取得見込みの者ただし、取得見込みで出願し合格した者が令和6年3月31日までに資格取得ができない場合は、合格を取り消す。
- (2) 日本語を母語とする者又は国際バカロレア資格の取得において日本語A (SL)・日本語A (HL)・日本語B (HL) のいずれかを履修している者

### 2. 出願期間

令和5(2023)年10月2日(月)から同年10月6日(金)まで〔書留速達郵便・期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、10月6日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

### 3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。

## IX. 国際バカロレア選抜

## 4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点

(1) 試験期日 …… 令和5(2023)年11月25日(土)

(2) 出題教科・科目等及び配点(出題教科・科目等は全て必須, 100点満点)

課程	類・コース(PG:プログラム)	出題教科・科目等	配点	摘要	
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	面接試験	100		
	A 類 社 会 コ ー ス	面接試験	100		
	A 類 数 学 コ ー ス	面接試験	100		
	A 類 理 科 コ ー ス	面接試験	100		
	A 類 美 術 コ ー ス	面接試験	100		
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	面接試験	100		
	A 類 家 庭 コ ー ス	面接試験	100		
	A 類 英 語 コ ー ス	面接試験	100	一部英語によるものを含む。	
	A 類現代教育実践コース	学校教育PG	面接試験	100	
		学校心理PG	面接試験	100	
		国際教育PG	面接試験	100	
	A 類 も の づ く り 技 術 コ ー ス	面接試験	100		
	B 類 国 語 コ ー ス	面接試験	100		
	B 類 社 会 コ ー ス	面接試験	100		
	B 類 数 学 コ ー ス	面接試験	100		
	B 類 理 科 コ ー ス	面接試験	100		
	B 類 美 術 コ ー ス	面接試験	100		
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	面接試験	100		
	B 類 家 庭 コ ー ス	面接試験	100		
	B 類 技 術 コ ー ス	面接試験	100		
B 類 英 語 コ ー ス	面接試験	100	一部英語によるものを含む。		
B 類 情 報 コ ー ス	面接試験	100			
C 類	面接試験	100			
教育支援課程	E 類生涯学習・文化遺産教育コース	面接試験	100		
	E 類カウンセリングコース	面接試験	100		
	E 類多文化共生教育コース	面接試験	100		
	E 類情報教育コース	面接試験	100		
	E 類生涯スポーツコース	面接試験	100		



# 東京学芸大学教育学部

## 令和5(2023)年度 入試結果情報

令和5年度以前については本学「学部入試情報サイト」に掲載しています。

## 令和5年度入学者選抜における追試験について

本学の令和5年度一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜、スーパーアスリート推薦選抜、国際バカロレア選抜、帰国生選抜、私費外国人留学生選抜について、新型コロナウイルス感染症に罹患した等の理由で東京学芸大学入学試験（個別学力検査）を受験できなかった志願者を対象に追試験を実施しました。

実際に追試験を実施した選抜は以下のとおりです。

### 学校推薦型選抜

- A類現代教育実践コース国際教育プログラム
- A類幼児教育コース
- B類保健体育コース

### スーパーアスリート推薦選抜

- E類生涯スポーツコース



令和5年度 教育学部入学者選抜試験（一般選抜）

課程	類	コース・プログラム	募集人員	日程	日程別募集人員	志願者数			志願倍率	受験者数			合格者数			入学手続者数			追加合格者数			追加入学手続者数			合格者数合計			入学手続者数合計			入学者数			
						前	後	男		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
教育支援課程	E類	生涯学習・文化遺産教育	35	前	30	86	30	56	2.9	83	28	55	33	7	26	29	6	23							33	7	26	29	6	23	29	6	23	
				後	5	68	14	54	13.6	26	10	16	8	2	6	7	2	5								8	2	6	7	2	5	7	2	5
		カウンセリング	13	前	13	31	9	22	2.4	30	8	22	15	3	12	15	3	12							15	3	12	15	3	12	15	3	12	
				後																														
		ソーシャルワーク	18	前	18	19	1	18	1.1	19	1	18	18	1	17	17	1	16							18	1	17	17	1	16	17	1	16	
				後																														
		多文化共生教育	40	前	30	42	9	33	1.4	37	8	29	33	5	28	32	5	27							33	5	28	32	5	27	32	5	27	
				後	10	58	16	42	5.8	18	5	13	10	4	6	8	3	5							10	4	6	8	3	5	8	3	5	
	情報教育	15	前	10	21	16	5	2.1	21	16	5	12	11	1	11	10	1							12	11	1	11	10	1	11	10	1		
			後	5	34	24	10	6.8	17	11	6	6	5	1	5	4	1							6	5	1	5	4	1	5	4	1		
	表現教育	15	前	15	43	10	33	2.9	41	10	31	17	4	13	15	4	11							17	4	13	15	4	11	15	4	11		
			後																															
	生涯スポーツ	18	前	18	54	40	14	3.0	51	37	14	20	12	8	18	12	6							20	12	8	18	12	6	18	12	6		
後																																		
E類 計		154	前	134	296	115	181	2.2	282	108	174	148	43	105	137	41	96	0	0	0	0	0	0	148	43	105	137	41	96	137	41	96		
後	20		160	54	106	8.0	61	26	35	24	11	13	20	9	11	0	0	0	0	0	0	0	24	11	13	20	9	11	20	9	11			
教育支援課程合計			154	前	134	296	115	181	2.2	282	108	174	148	43	105	137	41	96	0	0	0	0	0	148	43	105	137	41	96	137	41	96		
後	20	160		54	106	8.0	61	26	35	24	11	13	20	9	11	0	0	0	0	0	0	0	24	11	13	20	9	11	20	9	11			
計	154	456		169	287	3.0	343	134	209	172	54	118	157	50	107	0	0	0	0	0	0	0	172	54	118	157	50	107	157	50	107			
総合計			881	前	725	1510	688	822	2.1	1461	668	793	791	345	446	750	328	422	0	0	0	0	0	791	345	446	750	328	422	747	325	422		
				後	156	1072	485	587	6.9	412	197	215	178	77	101	159	66	93	2	0	2	2	0	2	180	77	103	161	66	95	161	66	95	
					881	2582	1173	1409	2.9	1873	865	1008	969	422	547	909	394	515	2	0	2	2	0	2	971	422	549	911	394	517	908	391	517	

○ 課程、専攻(類)、コース・プログラム別の特別事項

- (1) 前日程において第2志望を認めるコース  
A類家庭コースとB類家庭コース, A類ものづくり技術コースとB類技術コース
- (2) 後日程において第2志望を認めるコース  
A類社会コースとB類社会コース, A類数学コースとB類数学コース, A類理科コースとB類理科コース

令和5年度 教育学部入学者選抜試験（国費留学生）

類	コース・プログラム	国費留学生											
		志願者数		受験者数		合格者数		入学者数					
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
A	英語	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
計		1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0



令和5年度 教育学部入学者選抜試験（特別選抜）

課程	類	コース・プログラム	学校推薦型選抜											高大接続プログラム特別入試																	
			募集人員	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		志願者数		受験者数		合格者数		入学者数													
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女												
学校 教育 教員 養成 課程	A 類	国語	15	43	6	37	43	6	37	15	1	14	15	1	14	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1				
		社会															1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1			
		数学																													
		理科															1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1			
		音楽																													
		美術	10	9	0	9	9	0	9	9	0	9	9	0	9																
		保健体育	10	21	13	8	21	13	8	11	6	5	11	6	5																
		家庭	3	12	0	12	12	0	12	3	0	3	3	0	3																
		英語	7	16	4	12	16	4	12	7	3	4	7	3	4	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
		現代教育実践・学校教育																													
		現代教育実践・学校心理															1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
		現代教育実践・国際教育	3	11	1	10	10	1	9	3	1	2	3	1	2																
		現代教育実践・環境教育																													
		ものづくり技術	2	2	1	1	2	1	1	1	0	1	1	0	1																
		幼児教育	4	20	2	18	19	2	17	4	0	4	4	0	4																
	計	54	134	27	107	132	27	105	53	11	42	53	11	42	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4		
	B 類	国語	5	17	6	11	17	6	11	6	2	4	6	2	4																
		社会														1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
		数学																													
		理科																													
音楽															1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1		
美術		5	13	3	10	13	3	10	5	1	4	5	1	4																	
保健体育		10	36	23	13	33	21	12	10	7	3	10	7	3	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1		
家庭		2	6	1	5	6	1	5	2	0	2	2	0	2																	
技術		2	6	5	1	6	5	1	2	1	1	2	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0		
英語		7	20	4	16	20	4	16	8	1	7	8	1	7																	
書道		4	9	0	9	9	0	9	4	0	4	4	0	4																	
情報																															
計	35	107	42	65	104	40	64	37	12	25	37	12	25	4	1	3	4	1	3	4	1	3	4	1	3	4	1	3			
C類(計)	5	30	5	25	30	5	25	5	0	5	5	0	5																		
D類養護教育(計)	4	26	0	26	26	0	26	5	0	5	5	0	5																		
学校教育教員養成課程 合計			98	297	74	223	292	72	220	100	23	77	100	23	77	9	2	7	9	2	7	9	2	7	9	2	7	9	2	7	
教育 支援 課程	E 類	生涯学習・文化遺産教育																													
		カウンセリング	7	25	1	24	25	1	24	7	0	7	7	0	7																
		ソーシャルワーク	2	10	1	9	10	1	9	2	0	2	2	0	2																
		多文化共生教育																													
		情報教育																													
		表現教育	5	16	3	13	16	3	13	5	1	4	5	1	4																
		生涯スポーツ	7	15	11	4	15	11	4	7	4	3	7	4	3																
		※SA生涯スポーツ	10	10	5	5	9	5	4	9	5	4	9	5	4																
計	31	76	21	55	75	21	54	30	10	20	30	10	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
教育支援課程 合計			31	76	21	55	75	21	54	30	10	20	30	10	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総計			129	373	95	278	367	93	274	130	33	97	130	33	97	9	2	7	9	2	7	9	2	7	9	2	7	9	2	7	

※ SA生涯スポーツは、スーパーアスリート推薦選抜の選抜経過である。

令和5年度 教育学部入学者選抜試験（学校推薦型選抜）

類	コース・プログラム	学校推薦型選抜 追試験											
		志願者数		受験者数		合格者数		入学者数					
		男	女	男	女	男	女	男	女				
A	現代教育実践・国際教育	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
A	幼児教育	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
B	保健体育	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
E	※SA生涯スポーツ	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
計		4	0	4	4	0	4	1	0	1	1	0	1

※志願者数は本試験の内数

課程	類	コース・プログラム	帰国生選抜								私費外国人留学生選抜													
			志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		志願者数		受験者数		合格者数		入学者数							
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
学校教育 教員養成課程	A類	国語																						
		社会																						
		数学																						
		理科																						
		音楽																						
		美術																						
		保健体育																						
		家庭																						
		英語																						
		現代教育実践・学校教育												1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
		現代教育実践・学校心理												1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
		現代教育実践・国際教育												3	1	2	2	0	2	0	0	0	0	0
		現代教育実践・環境教育																						
		ものづくり技術																						
	幼児教育												2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	
	計												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		B類	国語																					
			社会																					
			数学																					
			理科											1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
			音楽																					
	美術																							
	保健体育																							
	家庭																							
	技術																							
	英語																							
	書道																							
	情報																							
	計											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C類(計)												1	0	1	1	0	1	0	0	0	0		
	D類 養護教育(計)																							
	学校教育系合計											0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
教育支援課程	E類	生涯学習・文化遺産教育																						
		カウンセリング																						
		ソーシャルワーク	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1										
		多文化共生教育												4	4	0	2	2	0	1	1	0	1	1
		情報教育																						
		表現教育												2	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0
		生涯スポーツ	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0										
	計	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	6	5	1	4	3	1	1	1	0	1	
教育支援系合計												2	1	1	2	1	1	2	1	1	0	1		
総計												2	1	1	2	1	1	2	1	1	0	1		

課程	類	コース・プログラム	国際バカロレア選抜											
			志願者数		受験者数		合格者数		入学者数					
			男	女	男	女	男	女	男	女				
学校教育教員養成課程	A類	国語												
		社会												
		数学												
		理科												
		音楽												
		美術												
		保健体育												
		家庭												
		英語												
		現代教育実践・学校教育												
		現代教育実践・学校心理												
		現代教育実践・国際教育												
		現代教育実践・環境教育												
		ものづくり技術												
		幼児教育												
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
学校教育教員養成課程	B類	国語												
		社会												
		数学												
		理科												
		音楽												
		美術	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0
		保健体育												
		家庭												
		技術												
		英語	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
		書道												
		情報												
			計	2	0	2	2	0	2	1	0	1	0	0
	C類(計)													
	D類 養護教育(計)													
	学校教育教員養成課程合計	2	0	2	2	0	2	1	0	1	0	0	0	
教育支援課程	E類	生涯学習・文化遺産教育												
		カウンセリング	2	0	2	2	0	2	1	0	1	0	0	0
		ソーシャルワーク												
		多文化共生教育	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2
		情報教育												
		表現教育												
		生涯スポーツ												
	計	4	0	4	4	0	4	3	0	3	2	0	2	
	教育支援課程合計	4	0	4	4	0	4	3	0	3	2	0	2	
	総計	6	0	6	6	0	6	4	0	4	2	0	2	

2. 令和5年度学部入学者選抜試験(一般選抜)合格者最高点・最低点・平均点

課程	類	コース・プログラム	募集人員	日程	日程別募集人員	合格者数	最高点	最低点	平均点	配点		
										合計点	大学入学共通テスト	東京学芸大学試験
A	国語		65	前	55	57	1,070	879	943	1,350	900	450
				後	10	15	1,289	1,023	1,128	1,550	1,100	450
	社会		70	前	50	52	1,027	877	921	1,230	900	330
				後	20	24	1,002	843	888	1,200	900	300
	数学		65	前	50	52	1,140	804	901	1,400	900	500
				後	15	16	1,337	1,106	1,209	1,650	1,300	350
	理科		85	前	60	62	1,042	796	894	1,340	900	440
				後	25	27	1,018	786	855	1,300	900	400
	音楽		25	前	17	18	893	780	833	1,085	700	385
				後	8	8	-	-	-	965	700	265
	美術		15	前	15	18	889	616	738	1,085	700	385
	保健体育		30	前	30	32	877	696	746	1,050	700	350
	家庭		12	前	12	14	924	779	825	1,200	900	300
	英語		8	前	8	9	-	-	-	1,400	900	500
	現代教育実践・学校教育		20	前	15	17	924	806	854	1,200	900	300
				後	5	6	-	-	-	1,200	900	300
	現代教育実践・学校心理		20	前	12	14	965	861	894	1,200	900	300
				後	8	8	-	-	-	1,200	900	300
	現代教育実践・国際教育		12	前	12	13	1,063	806	974	1,350	900	450
	現代教育実践・環境教育		20	前	15	17	946	828	874	1,230	900	330
後				5	5	-	-	-	1,300	900	400	
ものづくり技術		8	前	8	10	1,057	872	966	1,400	1,000	400	
幼児教育		16	前	16	18	1,081	877	945	1,250	900	350	
B	国語		15	前	15	17	1,710	1,442	1,538	2,200	900	1,300
				後								
	社会		25	前	20	23	1,087	921	977	1,230	900	330
				後	5	7	-	-	-	1,200	900	300
	数学		25	前	20	22	1,796	1,410	1,533	2,200	1,100	1,100
				後	5	6	-	-	-	1,650	1,300	350
	理科		45	前	30	32	1,656	1,372	1,470	2,000	900	1,100
				後	15	17	1,011	873	928	1,300	900	400
	音楽		20	前	12	16	1,640	1,429	1,533	1,890	900	990
				後	8	5	-	-	-	2,385	900	1,485
	美術		15	前	15	17	1,175	925	1,038	1,400	700	700
	保健体育		10	前	10	12	978	719	846	1,150	700	450
	家庭		8	前	8	9	-	-	-	1,200	900	300
技術		8	前	8	9	-	-	-	1,400	1,000	400	
英語		8	前	8	9	-	-	-	1,550	1,000	550	
書道		16	前	16	18	1,270	941	1,070	1,800	700	1,100	
情報		20	前	15	17	962	522	747	1,350	900	450	
			後	5	5	-	-	-	1,400	1,100	300	

学校教育教員養成課程

課程	類	コース・プログラム	募集人員	日程	日程別募集人員	合格者数	最高点	最低点	平均点	配点		
										合計点	大学入学共通テスト	東京学芸大学試験
学校 養成 課程 教員	C 類		35	前	30	32	999	815	873	1,340	900	440
				後	5	5	-	-	-	1,300	900	400
	D 類	養護教育	6	前	6	7	-	-	-	1,300	900	400
教育 支援 課程	E 類	生涯学習・文化遺産教育	35	前	30	33	1,022	889	940	1,400	900	500
				後	5	8	-	-	-	1,200	900	300
		カウンセリング	13	前	13	15	1,003	818	897	1,200	900	300
		ソーシャルワーク	18	前	18	18	1,122	950	1,019	1,400	900	500
		多文化共生教育	40	前	30	33	1,374	1,106	1,283	1,700	1,200	500
				後	10	10	1,416	1,279	1,330	1,700	1,200	500
		情報教育	15	前	10	12	859	676	761	1,450	900	550
				後	5	6	-	-	-	1,400	1,100	300
		表現教育	15	前	15	17	2,023	1,764	1,850	2,600	1,300	1,300
		生涯スポーツ	18	前	18	20	950	804	861	1,200	700	500

※合格者が10名に満たないコース・プログラム（日程別）の最高点・最低点・平均点は公表しない。  
平均点は、小数第1位を四捨五入した。  
合格者には、追加合格者及び追試験合格者を含まない。

3. 令和5年度学部入学者選抜試験基準点・配点一覧表

上段基準点 下段配点

前期日程

課程	類	コース・プログラム	大学入学共通テスト									東京学芸大学入学試験
			国語	地歴 (注)3	公民 (注)3	数学① (注)3	数学② (注)3	理科① (注)3	理科② (注)3	外国語 (注)4	計	
A類	国語		40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	国語176, 小論文28
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	国語400, 小論文50
	社会		40	20	20	20	20	*20	*20	40	360	地歴・公民60, 小論文6
			200	200		100	100	100		200	900	地歴・公民から1科目選択300, 小論文30
	数学		40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	数学90, 小論文13
			200	100		100	100	200		200	900	数学450, 小論文50
	理科		40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	理科各40, 小論文8
			200	100		100	100	200		200	900	理科2科目選択各200, 小論文40
	音楽		40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	音楽実技130, 共通試験105, 面接25
			200	100		100	—	100		200	700	音楽実技200, 共通試験150, 面接35
	美術		40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	美術実技175, 面接21
			200	100		100	—	100		200	700	美術実技350, 面接35
	保健体育		40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	体育実技20, 面接45
			200	100		100	—	100		200	700	体育実技200, 面接150
	家庭		40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	120
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300
	英語		40	*20	*20	20	20	*20	*20	60	360	英語225, 面接30
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	英語450, 面接50
	現代教育実践・ 学校教育		40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	150
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300
	現代教育実践・ 学校心理		40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	90
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300
	現代教育実践・ 国際教育		60	*30	*30	20	20	*20	*20	60	360	270
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	450
	現代教育実践・ 環境教育		40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	350	地歴・公民90又は理科各45, 小論文9
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	地歴・公民から1科目(300)又は 理科から2科目(各150)選択, 小論文30
ものづくり技術		20	*10	*10	15	15	10	10	20	330	200	
		200	100		150	150	200		200	1,000	400	
幼児教育		40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	実技11, 面接123	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	実技50, 面接300	
B類	国語		40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	国語528, 小論文43
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	国語1,200, 小論文100
	社会		40	20	20	20	20	*20	*20	40	360	地歴・公民60, 小論文6
			200	200		100	100	100		200	900	地歴・公民から1科目選択300, 小論文30
	数学		40	*20	*20	40	40	20	20	40	440	数学300, 小論文25
			200	100		200	200	200		200	1,100	数学1,000, 小論文100
	理科		40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	理科各100, 小論文20
			200	100		100	100	200		200	900	理科2科目選択各500, 小論文100
	音楽		60	*20	*20	*20	—	*20	*20	60	360	音楽実技420, 共通試験210, 面接65
			300	*100	*100	*100	—	*100		300	900	音楽実技600, 共通試験300, 面接90
	美術		40	*10	*10	*10	—	*10	*10	20	190	美術実技300, 面接120
			200	*100	*100	*100	—	*100		200	700	美術実技500, 面接200
	保健体育		40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	体育実技30, 面接45
			200	100		100	—	100		200	700	体育実技300, 面接150
	家庭		40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	120
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300
	技術		20	*10	*10	15	15	10	10	20	330	200
			200	100		150	150	200		200	1,000	400
	英語		40	*20	*20	20	20	*20	*20	100	400	英語250, 面接25
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		300	1,000	英語500, 面接50
	書道		40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	国語140, 書道実技・書道理論240, 面接60
			200	100		100	—	100		200	700	国語400, 書道実技・書道理論600, 面接100
	情報		40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	数学1, 面接20
			200	100		100	100	200		200	900	数学400, 面接50

学校教育教員養成課程

前期日程

課程	類	コース・プログラム	大学入学共通テスト								東京学芸大学入学試験	
			国語	地歴 (注)3	公民 (注)3	数学① (注)3	数学② (注)3	理科① (注)3	理科② (注)3	外国語 (注)4		計
学校 養成 課程	C 類		40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	小論文120, 面接12
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	小論文400, 面接40
教育 支援 課程	D 類	養護教育	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	小論文150, 面接60
			200	100		100	100	200		200	900	小論文300, 面接100
教育 支援 課程	E 類	生涯学習・文化遺産教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	195
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	500
		カウンセリング	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	183
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300
		ソーシャルワーク	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	300
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	500
		多文化共生教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	100	240	200
			200	200		100	100	100		500	1,200	500
		情報教育	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	数学1, 面接20
			200	100		100	100	200		200	900	数学500, 面接50
		表現教育	30	*10	*10	10	10	*10	*10	50	130	780
			300	*100又は200		100	100	*100又は200		500	1,300	1300
		生涯スポーツ	40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	体育実技30, 面接60
			200	100		100	—	100		200	700	体育実技300, 面接200

- (注) 1. 入試配点(下段)に対する基準点(上段)である。
2. 大学入学共通テストの \*印付きは、選択教科・科目を示す。「\*100又は200」については、1科目選択の場合は100, 2科目選択の場合は200とする。
3. 地理歴史・公民⇒「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 『倫理, 政治・経済』(『倫理, 政治・経済』は1つの科目である。)  
 数学①⇒「数学Ⅰ・数学A」  
 数学②⇒「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」  
 理科①⇒「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」(理科①は2科目で1科目相当の成績として取り扱う。)  
 理科②⇒「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」
4. 外国語において、英語を選択した場合は、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を本表に示した外国語の配点に換算する。  
 ただし、リスニングについて、大学入試センターの受験上の配慮により受験が免除された場合は、リーディングの得点を本表に示した外国語の配点に換算する。

○合否判定基準について

本学では、大学入学共通テストの科目の得点及び合計得点と、東京学芸大学入学試験の科目の得点のうち、1科目でも本学の定めた基準点に達していない場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格とする制度を採用している。

本学が指定した東京学芸大学入学試験の指定の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は、選抜の対象から除外する。

○この一覧表は、令和5年度学部入学者選抜試験(一般選抜)の基準点であり、令和6年度学部入学者選抜試験の基準点については、あらためて定めることになる。

後期日程

課程	類	コース・プログラム	大学入学共通テスト									東京学芸大学入学試験
			国語	地歴 (注)3	公民 (注)3	数学① (注)3	数学② (注)3	理科① (注)3	理科② (注)3	外国語 (注)4	計	
学校教育 教員養成課程	A類	国語	80	*20	*20	20	20	*20	*20	40	440	311
			400	*100又は200		100	100	*100又は200		200	1,100	450
		社会	40	20	20	20	20	*20	*20	40	360	60
			200	200		100	100	100		200	900	300
		数学	40	*20	*20	60	60	20	20	40	520	210
			200	100		300	300	200		200	1,300	350
		理科	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	160
			200	100		100	100	200		200	900	400
		音楽	40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	音楽実技144, 面接18
			200	100		100	-	100		200	700	音楽実技240, 面接25
	現代教育実践・ 学校教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	150	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300	
	現代教育実践・ 学校心理	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	90	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300	
	現代教育実践・ 環境教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	350	120	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	400	
	B類	社会	40	20	20	20	20	*20	*20	40	360	60
			200	200		100	100	100		200	900	300
		数学	40	*20	*20	60	60	20	20	40	520	210
			200	100		300	300	200		200	1,300	350
理科		40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	160	
		200	100		100	100	200		200	900	400	
音楽	60	*20	*20	*20	—	*20	*20	60	360	音楽実技704, 面接88, 共通試験165		
	300	*100	*100	*100	-	*100		300	900	音楽実技1050, 面接135, 共通試験300		
情報	40	*20	*20	40	40	20	20	40	440	150		
	200	100		200	200	200		200	1,100	300		
C類		40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	400	小論文80, 面接80	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	小論文200, 面接200	
教育支援課程	E類	生涯学習・文化遺産教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	75
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300
	多文化共生教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	100	240	300	
		200	200		100	100	100		500	1,200	500	
情報教育	40	*20	*20	40	40	20	20	40	440	150		
	200	100		200	200	200		200	1,100	300		

- (注) 1. 入試配点(下段)に対する基準点(上段)である。  
 2. 大学入学共通テストの \*印付きは、選択教科・科目を示す。「\*100又は200」については、1科目選択の場合は100, 2科目選択の場合は200とする。  
 3. 地理歴史・公民⇒「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 『倫理, 政治・経済』(『倫理, 政治・経済』は1つの科目である。)  
 数学①⇒「数学Ⅰ・数学A」  
 数学②⇒「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」  
 理科①⇒「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」(理科①は2科目で1科目相当の成績として取り扱う。)  
 理科②⇒「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」  
 4. 外国語において、英語を選択した場合は、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を本表に示した外国語の配点に換算する。  
 ただし、リスニングについて、大学入試センターの受験上の配慮により受験が免除された場合は、リーディングの得点を本表に示した外国語の配点に換算する。

○合否判定基準について

本学では、大学入学共通テストの科目の得点及び合計得点と、東京学芸大学入学試験の科目の得点のうち、1科目でも本学の定めた基準点に達していない場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格とする制度を採用している。

本学が指定した東京学芸大学入学試験の指定の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は、選抜の対象から除外する。

○この一覧表は、令和5年度学部入学者選抜試験(一般選抜)の基準点であり、令和6年度学部入学者選抜試験の基準点については、あらためて定めることになる。



4. 令和5年度学校推薦型選抜・スーパーアスリート推薦選抜 配点・基準点一覧表

上段基準点 下段配点

課程	専攻(類)	コース・プログラム	面接	小論文	実技試験
学校教育教員養成課程	初等教育専攻(A類)	国語	130	70	-
			180	120	-
		美術	60	60	60
			100	100	100
		保健体育	60	50	50
			100	100	100
		家庭	50	100	-
			100	200	-
		英語	70	100	-
			100	200	-
		現代教育実践・国際教育	100	50	-
			200	100	-
		ものづくり技術	75	75	-
			150	150	-
	幼児教育	31	51	11	
		150	100	50	
	中等教育専攻(B類)	国語	130	70	-
			180	120	-
		美術	60	60	60
			100	100	100
		保健体育	60	50	50
			100	100	100
		家庭	50	100	-
			100	200	-
		技術	75	75	-
			150	150	-
		英語	70	100	-
			100	200	-
書道		60	60	60	
		100	100	100	
特別支援教育専攻(C類)	50	50	-		
	150	150	-		
養護教育専攻(D類)	養護教育	60	60	-	
		150	150	-	
教育支援課程	教育支援専攻(E類)	カウンセリング	66	34	-
			200	100	-
		ソーシャルワーク	40	110	-
			100	200	-
		表現教育	100	50	-
			200	100	-
		生涯スポーツ	60	50	50
			100	100	100
生涯スポーツ (スーパーアスリート推薦選抜)	60	60	-		
	150	150	-		

(注) 入試配点(下段)に対する基準点(上段)である。

○合否判定基準について

本学では、面接、小論文、実技試験等の得点が、本学の定めた基準点に達していない場合は不合格とする制度を採用している。

○この一覧表は、令和5年度学部入学者選抜試験(学校推薦型選抜・スーパーアスリート推薦選抜)の基準点であり、令和6年度学部入学者選抜試験の基準点については、あらためて定めることになる。